

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル) 申請様式

| | | | |
|--------------------------------|-------------------------|--------|-----------------|
| ① 学校名 | 滋賀短期大学 | | |
| ② 大学等の設置者 | 学校法人純美禮学園 | ③ 設置形態 | 短期大学 |
| ④ 所在地 | 滋賀県大津市竜が丘24番4号 | | |
| ⑤ 申請するプログラム名称 | 実務人材育成のためのデジタル教育推進プログラム | | |
| ⑥ プログラムの開設年度 | 令和3 | 年度 | ⑦ 応用基礎レベルの申請の有無 |
| | | | 無 |
| ⑧ 教員数 | (常勤) | 27 | 人 |
| | | (非常勤) | 93 |
| | | | 人 |
| ⑨ プログラムの授業を教えている教員数 | | 3 | 人 |
| ⑩ 全学部・学科の入学定員 | 330 | | 人 |
| ⑪ 全学部・学科の学生数(学年別) | | 総数 | 614 |
| | | | 人 |
| 1年次 | 328 | 人 | 2年次 |
| | | | 286 |
| | | | 人 |
| 3年次 | | 人 | 4年次 |
| | | | |
| | | | 人 |
| 5年次 | | 人 | 6年次 |
| | | | |
| | | | 人 |
| ⑫ プログラムの運営責任者 | | | |
| (責任者名) | 小山内幸治 | (役職名) | 副学長 |
| ⑬ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等) | 全学デジタル教育推進WG | | |
| (責任者名) | 小山内幸治 | (役職名) | 副学長 |
| ⑭ プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等) | 自己点検・評価委員会 | | |
| (責任者名) | 秋山元秀 | (役職名) | 学長 |
| ⑮ 申請する認定プログラム | 認定教育プログラム | | |

連絡先

| | | | |
|--------|--|------|--------------|
| 所属部署名 | 学務課 | 担当者名 | 小杉ゆう子 |
| E-mail | tkyoumu@sumire.ac.jp | 電話番号 | 077-524-3638 |

⑧選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

| 授業科目 | 選択 | 授業科目 | 選択 |
|------|----|------|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

⑨プログラムを構成する授業の内容

| 授業に含まれている内容・要素 | | 講義内容 |
|---|-----|--|
| (1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている | 1-1 | ・データサイエンスが社会や企業に与える影響について(データ分析入門1回目) |
| | 1-6 | ・企業におけるデータ分析の活用(データ分析入門 第1回、第12回、第13回、第14回、第15回) |
| (2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの | 1-2 | ・データを用いた分析とその応用範囲(データ分析入門第1回目、第15回目) |
| | 1-3 | ・データ分析を用いた企業の問題解決の例(データ分析入門 第12回、第13回目、第14回目) |

| | | |
|--|-----|--|
| <p>(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの</p> | 1-4 | ・企業におけるデータ分析の活用(データ分析入門 第1回、第12回、第13回、第14回、第15回) |
| | 1-5 | ・企業におけるデータ分析の活用(データ分析入門 第1回、第12回、第13回、第14回、第15回) |
| <p>(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする</p> | 3-1 | ・データ利用データの取り扱いにおける留意点(情報倫理・セキュリティ・ブラックボックス化)(データ分析入門 第15回) |
| | 3-2 | ・データ利用・データの取り扱いにおける留意点(情報倫理・セキュリティ・ブラックボックス化)(データ分析入門 第15回) |
| <p>(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの</p> | 2-1 | ・データの形式と収集について(データ分析入門 第1回) ・Excelの基本操作(コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅱ 第4回～第14回) |
| | 2-2 | ・データ分析結果発表(データ分析入門 第11回、第12回、第13回、第14回) |
| | 2-3 | ・実務データの分析(データ分析入門 第11回、第12回、第13回、第14回) |

⑩プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

1. データの収集・加工・処理、データの分析、分析結果の解釈とその活用というデータサイエンスの3要素について基本的な技術を身につける。
2. データサイエンスの応用事例について理解する。

⑪プログラムの授業内容等を公表しているアドレス

<https://www.sumire.ac.jp/tandai/news/13742/>

⑧選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

| 授業科目 | 選択 | 授業科目 | 選択 |
|------|----|------|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

⑨プログラムを構成する授業の内容

| 授業に含まれている内容・要素 | | 講義内容 |
|---|-----|--|
| (1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている | 1-1 | ・データサイエンスが社会や企業に与える影響について(データ分析入門1回目) |
| | 1-6 | ・企業におけるデータ分析の活用(データ分析入門 第1回、第12回、第13回、第14回、第15回) |
| (2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの | 1-2 | ・データを用いた分析とその応用範囲(データ分析入門第1回目、第15回目) |
| | 1-3 | ・データ分析を用いた企業の問題解決の例(データ分析入門 第12回、第13回目、第14回目) |

| | | |
|---|-----|---|
| (3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの | 1-4 | ・企業におけるデータ分析の活用(データ分析入門 第1回、第12回、第13回、第14回、第15回) |
| | 1-5 | ・企業におけるデータ分析の活用(データ分析入門 第1回、第12回、第13回、第14回、第15回) |
| (4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする | 3-1 | ・データ利用データの取り扱いにおける留意点(情報倫理・セキュリティ・ブラックボックス化)(データ分析入門 第15回) |
| | 3-2 | ・データ利用・データの取り扱いにおける留意点(情報倫理・セキュリティ・ブラックボックス化)(データ分析入門 第15回) |
| (5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの | 2-1 | ・データの形式と収集について(データ分析入門 第1回) ・Excelの基本操作(情報処理基礎Ⅱ(生活)第2回～第10回) |
| | 2-2 | ・データ分析結果発表(データ分析入門 第11回、第12回、第13回、第14回) |
| | 2-3 | ・実務データの分析(データ分析入門 第11回、第12回、第13回、第14回) |

⑩プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

1. データの収集・加工・処理、データの分析、分析結果の解釈とその活用というデータサイエンスの3要素について基本的な技術を身につける。
2. データサイエンスの応用事例について理解する。

⑪プログラムの授業内容等を公表しているアドレス

<https://www.sumire.ac.jp/tandai/news/13742/>

⑧選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

| 授業科目 | 選択 | 授業科目 | 選択 |
|------|----|------|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

⑨プログラムを構成する授業の内容

| 授業に含まれている内容・要素 | | 講義内容 |
|---|-----|--|
| (1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている | 1-1 | ・データサイエンスが社会や企業に与える影響について(データ分析入門1回目) |
| | 1-6 | ・企業におけるデータ分析の活用(データ分析入門 第1回、第12回、第13回、第14回、第15回) |
| (2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの | 1-2 | ・データを用いた分析とその応用範囲(データ分析入門第1回目、第15回目) |
| | 1-3 | ・データ分析を用いた企業の問題解決の例(データ分析入門 第12回、第13回目、第14回目) |

| | | |
|---|-----|--|
| (3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの | 1-4 | ・企業におけるデータ分析の活用(データ分析入門 第1回、第12回、第13回、第14回、第15回) |
| | 1-5 | ・企業におけるデータ分析の活用(データ分析入門 第1回、第12回、第13回、第14回、第15回) |
| (4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする | 3-1 | ・データ利用データの取り扱いにおける留意点(情報倫理・セキュリティ・ブラックボックス化)(データ分析入門 第15回) ・情報モラルと個人情報の管理(情報処理基礎Ⅱ(幼教) 第9回) |
| | 3-2 | ・データ利用・データの取り扱いにおける留意点(情報倫理・セキュリティ・ブラックボックス化)(データ分析入門 第15回) ・情報モラルと個人情報の管理(情報処理基礎Ⅱ(幼教) 第9回) |
| (5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの | 2-1 | ・データの形式と収集について(データ分析入門 第1回) ・Excelの基本操作(情報処理基礎Ⅱ(幼教)第2回～第6回) |
| | 2-2 | ・データ分析結果発表(データ分析入門 第11回、第12回、第13回、第14回) |
| | 2-3 | ・実務データの分析(データ分析入門 第11回、第12回、第13回、第14回) |

⑩プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

1. データの収集・加工・処理、データの分析、分析結果の解釈とその活用というデータサイエンスの3要素について基本的な技術を身につける。
2. データサイエンスの応用事例について理解する。

⑪プログラムの授業内容等を公表しているアドレス

<https://www.sumire.ac.jp/tandai/news/13742/>

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

滋賀短期大学委員会規程

② 体制の目的

全学デジタル教育推進WG

本学で実施する次の各号に掲げる事項について全学的に連絡調整を行い、本学におけるデジタル教育全般の推進及び質向上を図ることを目的とする。

(1) デジタル教育および数理・データサイエンス・AI教育プログラムの開発、管理及び運営に関すること。

(2) デジタル教育および数理・データサイエンス・AI教育プログラムの質向上に関すること。

2 本WGは、前項各号のほか次に掲げる業務を行う。

(1) 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度に関すること。

(2) デジタル教育および数理・データサイエンス・AI教育プログラムの自己点検・評価に関すること。

(3) その他デジタル教育および数理・データサイエンス・AI教育に関すること。

③ 具体的な構成員

全学デジタル教育推進WG

副学長 ビジネスコミュニケーション学科 教授 小山内 幸治

ビジネスコミュニケーション学科 教授 江見 和明

幼児教育保育学科 准教授 久米 央也

学務課長補佐 小杉 ゆう子

総務課主任 松岡 佑樹

④ 履修者数・履修率の向上に向けた計画

| | | | | | |
|---------|------|---------|------|---------|------|
| 令和3年度実績 | 1% | 令和4年度予定 | 66% | 令和5年度予定 | 100% |
| 令和6年度予定 | 100% | 令和7年度予定 | 100% | 収容定員(名) | 660 |

具体的な計画

令和3年度は、全学共通科目「データ分析入門」(全学科 選択)の他、各学科の専門科目「コンピュタリテラシー(データ処理)Ⅱ」(ビジネスコミュニケーション学科 必修)、「情報処理基礎Ⅱ」(幼児教育保育学科 必修)及び「情報処理基礎Ⅱ」(生活学科 必修)をプログラム構成科目として設置した。各学科専門科目は必修であるが、選択科目の全学共通科目「データ分析入門」の履修希望者が少なかったため、プログラム履修率が低い結果となった。

令和4年度からは、「データ分析入門」を不開講とし、データサイエンスの基礎的内容を網羅する「データサイエンス・リテラシー」を新たに設置し、これを生活学科とビジネスコミュニケーション学科は必修、幼児教育保育学科は選択とする。また、令和5年度からは、幼児教育保育学科が加わり、全学科必修とする予定である。これにより、本学では、基幹科目となる「データサイエンス・リテラシー」、それを補完する「コンピュタリテラシー(データ処理)Ⅱ」(ビジネスコミュニケーション学科・デジタルライフビジネス学科 必修)、「情報処理基礎Ⅱ」(幼児教育保育学科 必修)、「情報処理基礎Ⅱ」(生活学科 必修)科目がすべて必修となり、学生全員がデータサイエンスの基礎を身につけることができる体制が整う予定である。さらに、令和4年度から「データサイエンス入門」(デジタルライフビジネス学科 必修、ビジネスコミュニケーション学科選択 2単位)、「データサイエンス応用」(デジタルライフビジネス学科 必修、ビジネスコミュニケーション学科選択 2単位)も設置し、プログラムの充実を図る。

⑤ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

令和3年度は、プログラム構成科目「データ分析入門」を全学共通科目として開講し、学科を問わず希望者が選択できる体制とした。

令和4年度から、「データサイエンス・リテラシー」(2単位)が、滋賀大学データサイエンス学部が作成した教材を用いてオンデマンドで開講される。オンデマンドで使用されるgaccoシステムでのオンデマンド教育を補完するために、本学のオンライン教育システムのGoogle Classroomに「データサイエンスリテラシー」のクラスを設け、進度の管理と授業理解のための補足資料やビデオを配信する。

⑥ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

令和3年度は、入学後のガイダンス、SNSで学生に周知した。

本プログラムは、令和4年度から一部学科を除き必修化、令和5年度からは全学必修化される予定であるため、入学予定者に対してもプログラムの内容と意義を周知する。本学のWEBサイトホームページトップ画面に、プログラム専用ページへのリンクを掲載し、学生だけでなく学外関係者も情報を受け取りやすい環境を整備する予定である。

⑦ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

令和3年度は、「データ分析入門」、「コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅱ」、「情報処理基礎Ⅱ」に関する質問や疑問については、ラーニングサポートセンターで、教員または非常勤のコンピュータ教育サポーターが対応していた。

令和4年度から「データサイエンスリテラシー」(2単位)が、滋賀大学データサイエンス学部が作成した教材を用いてオンデマンドで開講される。講義の視聴は、日時は指定されておらず、学生の空き時間を利用してフレキシブルに学習することが可能となっている。オンデマンドで使用されるgaccoシステムでのオンデマンド教育を補完するために、本学のオンライン教育システムのGoogle Classroomに「データサイエンスリテラシー」のクラスを設け、質問を受け付けるほか、進度の管理と授業理解のための補足資料やビデオを配信する。

⑧ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

本学学生の学習全般を支援するラーニングサポートセンターに、非常勤のコンピュータ教育サポーターを配置し、授業時間外の学習支援を行っている。

令和4年度からは、データサイエンス・リテラシーの担当教員が、決まった曜日の決まった時間(週5時間程度)ラーニングサポートセンターに在室し、学生の質問や、技術的問題に対処する。本教育プログラムの授業については、滋賀大学データサイエンス学部が作成した教材を、gaccoを用いて視聴する形態をとるが、平行して本学のオンライン学習システムGoogle Classroomによる進捗管理、質問受付、ビデオ視聴後のレポート作成なども取り入れ、学生がモチベーションをもちつつ学習がつけられるように工夫する。

自己点検・評価について

① 自己点検・評価体制における意見等

| 自己点検・評価の視点 | 自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等 |
|---|---|
| <p data-bbox="197 357 607 395">学内からの視点</p> <p data-bbox="241 612 595 683">プログラムの履修・修得状況</p> | <p data-bbox="607 400 2078 900"> 全学デジタル教育推進WGにおいて、プログラムの履修状況及び単位修得状況を分析し、プログラム構成科目のカリキュラム上での位置づけ及び授業内容の適正化を図り、履修・修得状況を改善する。 令和3年度は、プログラム構成科目として全学開講した「データ分析入門」の履修者が極めて少なかった。「データ分析入門」を含む共通科目7科目を同一の曜限に開講し、本人の希望による選択を認めることとしているため、大多数の学生が他の科目へ分散するのを防ぐことができなかった。 令和4年度入学者に対しては、プログラム構成科目として全学開講共通科目「データサイエンス・リテラシー」を新設し、幼児教育保育学科を除く3学科で必修化する。また、必修でない学科の学生も履修・単位修得がしやすくなるよう、プログラム構成科目のカリキュラム上での位置づけを見直す。 </p> <p data-bbox="607 900 2078 1401"> シラバスに明示された到達目標と評価基準に基づき、成績評価を厳格に行った上、プログラム構成科目の単位修得率、平均GPA及び成績分布状況を確認することにより、プログラムの学修成果を評価する。また、授業評価アンケートの結果により、学修成果の把握と分析を行う。 </p> |
| <p data-bbox="241 1134 371 1173">学修成果</p> | |

| | |
|---|--|
| <p>学生アンケート等を通じた 学生の内容の理解度</p> | <p>全授業科目で授業評価アンケートを実施し、結果を分析して授業改善に役立てる。</p> <p>令和3年度の授業評価アンケートにおける、授業の理解度を問う質問に対する回答(4点満点):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報処理基礎Ⅱ(生活学科)」 3.28 ・「コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅱ(ビジネスコミュニケーション学科)」 3.43 |
| <p>学生アンケート等を通じた 後輩等他の学生への推奨度</p> | <p>後輩等他の学生への推奨度については、令和3年度は調査を行わなかったため不明である。今後、授業評価アンケート項目の見直しを行う。</p> <p>令和3年度の授業評価アンケートにおける、授業の満足度を問う質問に対する回答(4点満点):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「情報処理基礎Ⅱ(生活学科)」 3.38 ・「コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅱ(ビジネスコミュニケーション学科)」 3.38 |
| <p>全学的な履修者数、履修 率向上に向けた計画の達 成・進捗状況</p> | <p>令和4年度には、全学開講の共通科目「データサイエンス・リテラシー」を新設し、プログラムの構成科目とする。生活学科、ビジネスコミュニケーション学科、デジタルライフビジネス学科については、「データサイエンス・リテラシー」を卒業必修科目とすることにより、プログラム履修率100%を達成する。幼児教育保育学科については、「データサイエンス・リテラシー」の必修化に向け、他の共通科目及び専門科目のカリキュラムの見直しを検討する。</p> |

| | |
|-------------------------------|---|
| 学外からの視点 | |
| 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価 | <p>キャリア支援課が、プログラム修了者の就職先に対し、就職後の活躍状況や能力評価等についてヒアリング調査を行う。また、プログラムを修了し就職した者に対し、プログラムの評価のためのアンケートを実施する。</p> |
| 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見 | <p>学外実習、インターンシップ又は地域連携事業等の機会に、実習先、企業等から、本学学生に卒業までに身に付けてほしいデジタル実務能力を具体的に聞き取り、教育プログラムの開発と改善の参考とする。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p> | <p>学科ごとに異なる専門科目をプログラム構成科目とし、各学科の専門分野に関する実データ、実課題を用いた演習などを取り入れることで、学生の興味・関心を高め、楽しく学ぶことができるようにしている。また、学生が学ぶことの意義を実感できるよう、就職後に各専門分野の実務レベルでデジタルスキルを活かすことができる教育プログラムとする。</p> |
| <p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> | <p>令和3年度は、「データ分析入門」、「コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅱ」、「情報処理基礎Ⅱ」に関する質問や疑問については、ラーニングサポートセンターで、教員または非常勤のコンピュータ教育サポーターが対応していた。</p> <p>令和4年度からは「データサイエンス・リテラシー」(2単位)が、滋賀大学データサイエンス学部が作成した教材を用いてオンデマンドで開講される。オンデマンドで使用されるgaccoシステムでのオンデマンド教育を補完するために、本学のオンライン教育システムのGoogle Classroomに「データサイエンスリテラシー」のクラスを設け、進度の管理と授業理解のための補足資料やビデオを配信している。さらに、学生の学習を支援する施設であるラーニングサポートセンターに週5時間、「データサイエンス・リテラシー」の担当教員が在室し、対面で直接学生の質問に答えたり、技術的な解決の支援を行う。</p> |

②自己点検・評価体制における意見等を公表しているアドレス

<https://www.sumire.ac.jp/tandai/news/13742/>

| | | | |
|--|-----------|-----------------------|---------|
| 講義名 | | | |
| データ分析入門 | | | |
| 講義番号 | 1013801 | 授業科目名 | データ分析入門 |
| 担当教員 | 小山内幸治(専任) | 授業科目名 (英語) | |
| 開講期 | 後期 | 年次 | 1年次 |
| 形態 | 講義 | 単位 | 2 |
| 科目ナンバー | | | |
| GE1B16 | | | |
| 資格等 取得との関連 | | | |
| | | | |
| 卒業必修・選択 | | | |
| 選択 | | | |
| 授業の到達目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・データ分析に必要な統計の基礎が理解できる。 ・EXCELを使って、実務データの分析ができる。 | | | |
| 授業の内容 | | | |
| データ処理に必要な統計の基礎を学び、さらにEXCELを用いて実務データの分析を行うための手法を身につけるとともに、実際の現場でどのようにデータ分析を利用しているかを知ることができる。 | | | |
| 教科書「本学指定書店(五車堂、丸善)から販売のみ」 | | | |
| なし | | | |
| 参考書(本学では販売しません) | | | |
| 特になし | | | |
| 担当者からのメッセージ | | | |
| <p>実際のデータ処理にはEXCELを使います。この授業を受けるためには、EXCELの基礎知識を持っていることが必要です。</p> <p>また、ある程度算数の能力も必要となります。</p> <p>この授業で取り扱った内容を理解すれば、実際のビジネス上のデータを分析し、課題解決に役立てることが可能になります。興味のある方は履修してください。</p> | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック | | | |
| 毎時間課題が提出されます。課題は、次の時間の最初に解答します。 | | | |
| 成績評価の方法及び基準 | | | |
| 平常点 | 10% | 授業参加度・取り組みの態度 | |
| 小テスト | | | |
| 定期試験 | 70% | コンピュータを用いたデータ分析の問題 | |
| レポート | | | |
| その他 | 20% | 授業内課題 | |
| 自由記載 | | | |

オフィスアワー

小山内研究室 金曜日を除く昼休み 12時20分～12時45分

および授業終了後に教室で質問を受け付ける

担当教員E-Mail

osanai@sumire.ac.jp (小山内)

教員相互授業参観

全て公開する(参観の前に連絡してください)

授業計画

| 回数 | 学習内容 | 担当者 | 授業の運営方法 | 学習課題 (予習・復習内容) | 学習課題 (目安時間(分)) |
|----|--|-----|-----------------|-----------------------------------|-------------------|
| 1 | ガイダンス・データ分析の目的・データの形式 ①データ分析と社会 ②データ分析と企業 ③データ分析とAI ④データの形式と収集 ⑤データ分析の目的 ⑥データ分析の応用 | 小山内 | 講義 | データの形式を復習し、入力方法を理解しておく | 60 |
| 2 | 度数分布・ヒストグラム ①データを見える形で表す | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | 次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく | 90 |
| 3 | 平均値・中央値・最頻値 ①グループを代表する値 ②平均値、中央値、最頻値の適用例 | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | 次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく | 90 |
| 4 | 標準偏差・分散・順位・偏差値 ①データのばらつき ②順位付け ③偏差値の計算方法 ④偏差値の利用 | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | 次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく | 90 |
| 5 | ABC分析 ①ABC分析 ②クロスABC分析 ②データ分析のビジネス利用 | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | 次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく | 90 |
| 6 | 相関関係・回帰分析 ①グループ間の関係性を表す ②データから結果を予測する | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | 次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく | 90 |
| 7 | 重回帰分析 ①複数のデータ群から結果を予測する | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | 次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく | 90 |
| 8 | 時系列分析 ①時間による変動を考えた結果予測について ②自己回帰モデル ③移動平均モデル ④自己回帰移動平均モデル | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | 次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく | 90 |

| | | | | | |
|----|--|-----|-----------------|---------------------------------------|-----|
| 9 | 平均の差の検定・分散の差の検定 ①t検定 ②F検定 | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | 次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく | 90 |
| 10 | 独立性の検定・相関の検定・回帰の検定 ① χ^2 乗検定 ②相関係数の有意性検定 ③回帰の有意性の検定 | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | 次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく | 90 |
| 11 | 実務データ分析Ⅰ ①教育方法の有効性を検討する ②肥料の有効性を検討する ③年代によってアルコール飲料の嗜好に違いがあるかを調べる ④結果をまとめてレポート作成・発表 | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる | 90 |
| 12 | 実務データ分析Ⅱ ①都道府県別の最低賃金と雇用者数の関係を見る ②学歴と年収の関係を見る ③気温からドリンクの売上を予測する ④結果をまとめてレポート作成・発表 ④相関や回帰を使ったビジネスの応用事例の説明 | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる | 90 |
| 13 | 実務データ分析Ⅲ ①広告の種類・広告回数から売上を予測する ②駅からの距離、築年数、面積から家の価格を予測する ③結果をまとめてレポート作成・発表 ④重回帰を使ったビジネスにおける問題解決の事例の説明 | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる | 90 |
| 14 | 実務データ分析Ⅳ ①季節変動を加味した予測を移動平均モデルで行う ②結果をまとめてレポート作成・発表 ②さまざまな時系列モデルとその応用事例の説明 | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる | 90 |
| 15 | まとめと試験対策 ①データ利用・データの取り扱いにおける留意点(情報倫理・セキュリティ・ブラックボックス化) ②さまざまな分野でのデータ分析の応用事例 ③試験対策のアドバイス | 小山内 | 講義とコンピュータを用いた演習 | これまでの内容を復習する | 180 |
| | 定期試験 | | | | |

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

(共通DP)教養教育を身につける。

アクティブ・ラーニング

○

実務経験

| | | | |
|--|-----------|----------------------|------------------------------|
| 講義名 | | | |
| コンピュータリテラシー(データ処理)II | | | |
| 講義番号 | 2318400 | 授業科目名 | コンピュータリテラシー(データ処理)II |
| 担当教員 | 小山内幸治(専任) | 授業科目名(英語) | Office Automation Seminar II |
| 開講期 | 後期 | 年次 | 1年次 |
| 形態 | 演習 | 単位 | 1 |
| 科目ナンバー | | | |
| BC2B04 | | | |
| 資格等 取得との関連 | | | |
| 上級秘書士資格の選択、上級情報処理士資格の選択、ウェブデザイン実務士資格の選択、上級秘書士(メディカル秘書)資格の選択、秘書士資格の選択、情報処理士資格の必修 | | | |
| 卒業必修・選択 | | | |
| 必修 | | | |
| 授業の到達目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・グラフを使いこなすことができ、具体的な事例に応用できるようになる。 ・数値計算や統計について関数を用いて分析できる。 ・関数を用いて財務計算ができる。 ・条件の分岐やデータベース機能が使える。 ・実務で利用する書式について理解し、作成できる。 | | | |
| 授業の内容 | | | |
| OA機器演習Iで学習した表計算ソフト「Excel」について、更に高度な使い方を習得する。特に重要な機能である関数を中心にを行う。 具体的には、関数の基礎から始めて、数値計算、データの分析統計、日付時刻、条件分岐、財務などの関数を扱う。 | | | |
| 教科書「本学指定書店(五車堂、丸善)から販売のみ」 | | | |
| 『30時間でマスターExcel2019 Windows10対応』 実教出版 (実教出版(前期と同様のもの)) 価格(本体1,045円+税) 献本必要 | | | |
| 参考書(本学では販売しません) | | | |
| 特になし | | | |
| 担当者からのメッセージ | | | |
| Excelは、企業において仕事をするうえで必須のものです。この授業では、高度なグラフや関数の使い方をマスターし、実務でも活用できるような高度なスキルを養成します。是非履修して自分の武器にしてください。 | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック | | | |
| 課題をチェックし、未完成の場合は個別に指導します。 | | | |
| 成績評価の方法及び基準 | | | |
| 平常点 | 20% | 授業への取組、タッチメソッドの習得など | |
| 小テスト | | | |
| 定期試験 | 50% | 授業の内容全般についての理解度を評価する | |
| レポート | | | |
| その他 | 30% | 課題 | |
| 自由記載 | | | |

| オフィスアワー | | | | | |
|--|---|-----|---------|--|-------------------|
| 小山内研究室 木曜日、金曜日を除く昼休み 12時20分～12時45分 および授業終了後に教室で質問を受け付ける | | | | | |
| 担当教員E-Mail | | | | | |
| osanai@sumire.ac.jp(小山内) | | | | | |
| 教員相互授業参観 | | | | | |
| 全て公開する(参観の前に連絡してください) | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 回数 | 学習内容 | 担当者 | 授業の運営方法 | 学習課題 (予習・復習内容) | 学習課題 (目安時間(分)) |
| 1 | 前期の復習 | 小山内 | 講義・演習 | 毎回、課題を出題する 次回までに完成させておく こと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 2 | 6章 グラフ(2) 3Dグラフ | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 3 | 6章 グラフ(2) 複合グラフ | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 4 | 6章 グラフ(2) ドーナツグラフ・レーダー チャートグラフ・XYグラフ・絵 グラフ | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 5 | 6章 グラフ(2) 3Dグラフ | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 6 | 7章 データベース データベース入門 | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 7 | 7章 データベース データの並べ替え・データの 検索と置換 | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |

| | | | | | |
|----|---|-----|-------|---|-----|
| 8 | 7章 データベース データの抽出・条件の書き方 | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 9 | 7章 データベース データの集計 | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 10 | 8章 エクセルの応用(2) RANK, EQ・LARGE・SMALL関数 | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 11 | 8章 エクセルの応用(2) VLOOKUP・HLOOKUP・INDEX関数 | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 12 | 8章 エクセルの応用(2) LEN・LEFT・RIGHT・MID・VALUE・FIXED・MOD関数 | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 13 | 8章 エクセルの応用(2) DSUM・DAVERAGE・DMAX・DMIN・DCOUNT・DCOUNTA関数 | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 14 | 8章 エクセルの応用(2) COUNTIF・SUMIF・AVERAGEIF関数 | 小山内 | 講義・演習 | 復習課題を次回までに完成させておくこと テンキー入力の練習を毎日行うこと | 90 |
| 15 | まとめ | 小山内 | 講義・演習 | 試験対策のために、指定された課題を必ず完成させてください テンキーの練習を行ってください | 180 |
| | 定期試験 | | | | |

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

(ビDP2)【専門性をいかす技能】ビジネスの現場に必要な情報技術や実務的な技能を応用して、実際の課題に対応できる能力。

アクティブ・ラーニング

○

実務経験

| | | | |
|--|-----------|-----------------------|--|
| 講義名 | | | |
| 情報処理基礎II(食健康／ライフ) | | | |
| 講義番号 | 2113501 | 授業科目名 | 情報処理基礎II (食健康／ライフ) |
| 担当教員 | 小笠原寛夫(専任) | 授業科目名 (英語) | Introduction to Computer Exercise II |
| 開講期 | 後期 | 年次 | 1年次 |
| 形態 | 演習 | 単位 | 1 |
| 科目ナンバー | | | |
| LS2B03 | | | |
| 資格等 取得との関連 | | | |
| 栄養教諭二種免許の必修 | | | |
| 卒業必修・選択 | | | |
| 食健康／ライフ／必修 | | | |
| 授業の到達目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフト(Excel)の基本的な操作(計算式、データの入力、検索、抽出、並べ替えなど)ができる。 ・セルに入力された数値を計算式、関数を用いて処理できる。 ・表計算ソフト(Excel)の関数(合計、平均、最大、最小、割合、順位、IFなど)が利用できる ・Excel以外のアプリケーションソフトウェアとの間で適切に情報をやりとりできる。 | | | |
| 授業の内容 | | | |
| <p>IT企業に勤務し、経験豊かな実務経験を持つ教員が担当し、表計算ソフトの基礎から最新の状況までを紹介する。</p> <p>情報化社会において、コンピュータを使った情報処理のスキルと知識は、日々の勉強や仕事だけでなく、日常生活の上でも必要不可欠である。</p> <p>表計算ソフトウェアの活用技術を修得していることは、実社会での業務を行う上で有益であり、必須になってきている。</p> <p>本講義では、大学や企業において幅広く利用されている表計算ソフトを使用し、基本的な情報処理知識および操作技術を習得する。</p> | | | |
| 教科書「本学指定書店(五車堂、丸善)から販売のみ」 | | | |
| 『30時間アカデミック Office 2019』 杉本 くみ子 (実教出版) 価格(本体1,300円+税) 献本必要 | | | |
| 参考書(本学では販売しません) | | | |
| 特になし | | | |
| 担当者からのメッセージ | | | |
| <p>PCは興味を持って触れている時間が長ければ自然に身につきます。</p> <p>授業後は内容が確実に身につくよう、復習してください。</p> | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック | | | |
| 次回の授業で解説を行う。 | | | |

| 成績評価の方法及び基準 | | | | | |
|-----------------------|--------------------|---------------------|---------|---------------------|-------------------|
| 平常点 | 40% | 理解度、授業態度などを総合的に評価する | | | |
| 小テスト | | | | | |
| 定期試験 | | | | | |
| レポート | | | | | |
| その他 | 60% | 提出課題により評価する | | | |
| 自由記載 | | | | | |
| オフィスアワー | | | | | |
| 授業終了後に教室で質問を受け付ける | | | | | |
| 担当教員E-Mail | | | | | |
| | | | | | |
| 教員相互授業参観 | | | | | |
| 全て公開する(参観の前に連絡してください) | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 回数 | 学習内容 | 担当者 | 授業の運営方法 | 学習課題 ・習・復習内 | 学習課題 (目安時間(分)) |
| 1 | Excelの基本操作 | 小笠原 | 講義と演習 | ブック(Excelデータの名称)の作成 | 90 |
| 2 | 表の作成、計算 | 小笠原 | 講義と演習 | ブックの作成 | 90 |
| 3 | 表の印刷、書式設定 | 小笠原 | 講義と演習 | ブックの作成 | 90 |
| 4 | いろいろな関数や数式 | 小笠原 | 講義と演習 | ブックの作成 | 90 |
| 5 | いろいろな関数や数式 少し複雑な数式 | 小笠原 | 講義と演習 | ブックの作成 | 90 |
| 6 | グラフの作成 | 小笠原 | 講義と演習 | ブックの作成 | 90 |
| 7 | 図形の作成 | 小笠原 | 講義と演習 | ブックの作成 | 90 |
| 8 | データベースの利用 | 小笠原 | 講義と演習 | ブックの作成 | 90 |
| 9 | Wordとの連携 | 小笠原 | 講義と演習 | ブックの作成 | 90 |

| | | | | | |
|----|--|-----|-------|-----------------|----|
| 10 | Excellによる書類作成まとめ (課題) | 小笠原 | 講義と演習 | ホームページ 制作 | 90 |
| 11 | オンラインスプレッドシート の基本操作 1 オンラインスプレッドシート の作成・保存 | 小笠原 | 講義と演習 | スプレッドシー トの作成 | 90 |
| 12 | オンラインスプレッドシート の基本操作 2 オンラインスプレッドシート の編集 | 小笠原 | 講義と演習 | スプレッドシー トの作成 | 90 |
| 13 | オンラインスプレッドシート の基本操作 3 Excellファイルをスプレッド シートに変換 | 小笠原 | 課題の作成 | スプレッドシー トの作成 | 90 |
| 14 | オンラインスプレッドシートを 利用した課題作成 | 小笠原 | 課題の作成 | スプレッドシー トの作成 | 90 |
| 15 | プレゼンテーション発表と授 業まとめと評価 | 小笠原 | 課題の作成 | スプレッドシー トの作成 | 90 |

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

(生DP1)【専門知識と教養】豊かな生活を実現するために必要な基礎的専門知識をもち、その上で生活全般にわたる広い視野にもとづいて考える能力。

アクティブ・ラーニング

○

実務経験

○

| | | | |
|--|-----------|--------------------------------------|---------------------------------|
| 講義名 | | | |
| 情報処理基礎II | | | |
| 講義番号 | 2212200 | 授業科目名 | 情報処理基礎II |
| 担当教員 | 林 泰子(非常勤) | 授業科目名 (英語) | Basic Information Processing II |
| 開講期 | 後期 | 年次 | 2年次 |
| 形態 | 演習 | 単位 | 1 |
| 科目ナンバー | | | |
| EC2C05 | | | |
| 資格等 取得との関連 | | | |
| 幼稚園教諭二種免許の必修 | | | |
| 卒業必修・選択 | | | |
| 必修 | | | |
| 授業の到達目標 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの基本操作ができる。また表計算ソフトを応用して、効率の良い業務活動をすることができる。 ・プレゼンテーションソフトの基本操作ができる。また、幼児教育教材作成ができる。 ・社会人としての情報モラル・個人情報について理解を深めることができる。 | | | |
| 授業の内容 | | | |
| <p>表計算ソフト「Excel」の基本的な操作(計算処理、関数機能、グラフ作成)ができるようになり、会計報告書の作成や園児台帳の作成など保育者として必要なスキルを学ぶ。また、プレゼンテーションソフト「Power Point」を活用し、幼児教育に活かせる教材を作成する。さらに、保育現場における個人情報の取り扱いや情報モラルについて講義、演習を通して事例をもとに学んでいく。</p> | | | |
| 教科書「本学指定書店(五車堂、丸善)から販売のみ」 | | | |
| 『保育者のためのパソコン講座—Windows10/8.1/7 Office2010/2013/2016対応版』 阿部正平・阿部和子・二宮祐子 (萌文書林) 価格(本体2,000円+税) 献本必要 | | | |
| 参考書(本学では販売しません) | | | |
| 適宜紹介する | | | |
| 担当者からのメッセージ | | | |
| きっちりと出席し、授業中の課題をしっかりとこなしていきましょう。そしてパソコン等を活用してさまざまなことが出来るようになりましょう。 | | | |
| 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック | | | |
| Google Classroomを使用し、課題提出をしてもらいます。そして、Google Classroomを使用し、フィードバックします。 | | | |
| 成績評価の方法及び基準 | | | |
| 平常点 | 50% | 授業中に取り組んだ課題をGoogle Classroomを使って提出する | |
| 小テスト | 30% | 授業中にコンピュータを使った実技試験を行う | |
| 定期試験 | | | |
| レポート | | | |
| その他 | 20% | 課題プレゼンテーションについて、内容および表現方法を評価する | |
| 自由記載 | | | |

| オフィスアワー | | | | | |
|-----------------------------|---------------------------------|-----|---------------------------|--------------------|-------------------|
| 授業終了後に教室で質問を受け付ける | | | | | |
| 担当教員E-Mail | | | | | |
| y.hayashi@ashiya-u.ac.jp(林) | | | | | |
| 教員相互授業参観 | | | | | |
| 全て公開する(参観の前に連絡してください) | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| 回数 | 学習内容 | 担当者 | 授業の運営方法 | 学習課題 (予習・復習内容) | 学習課題 (目安時間(分)) |
| 1 | オリエンテーション ワードの復習とエクセルの説明 | 林 | 講義とパソコンを用いた演習 | パソコンの基本的な操作方法を復習する | 30 |
| 2 | エクセルの基本操作(1)簡単な計算 | 林 | 講義とパソコンを用いた演習 | 講義で学んだことを復習する | 30 |
| 3 | エクセルの基本操作(2)ワークシートの書式設定 | 林 | 講義とパソコンを用いた演習 | 講義で学んだことを復習する | 30 |
| 4 | エクセルの基本操作(3)データベース機能 | 林 | 講義とパソコンを用いた演習 | 講義で学んだことを復習する | 30 |
| 5 | エクセルの基本操作(4)グラフの作成と編集 | 林 | 講義とパソコンを用いた演習 | 講義で学んだことを復習する | 30 |
| 6 | エクセルの基本操作(5)関数による計算 | 林 | 講義とパソコンを用いた演習 | 講義で学んだことを復習する | 30 |
| 7 | エクセルの応用 ワードへの活用 | 林 | 講義とパソコンを用いた演習 | 講義で学んだことを復習する | 30 |
| 8 | エクセルの実技試験 | 林 | パソコンを用いた実技試験 | 講義で学んだことを振り返り総復習する | 30 |
| 9 | 情報モラルと個人情報の管理 | 林 | 講義とパソコンを用いた演習 | 講義で学んだことを復習する | 30 |
| 10 | パワーポイントの基本操作(1)スライドの作成 | 林 | 講義とパソコンを用いた演習 | 講義で学んだことを復習する | 30 |
| 11 | パワーポイントの基本操作(2)画像の挿入・アニメーションの設定 | 林 | 講義とパソコンを用いた演習 | 講義で学んだことを復習する | 30 |
| 12 | 電子紙芝居の作成(計画) | 林 | 講義とパソコンを用いた演習 | 講義で学んだことを復習する | 30 |
| 13 | 電子紙芝居の作成(コンテンツの作成) | 林 | 講義、パソコンを用いた演習、アクティブ・ラーニング | 講義で学んだことを復習する | 30 |

| | | | | | |
|----|-------------------|---|----------------|---------------|----|
| 14 | 電子紙芝居の作成(編集と発表準備) | 林 | 講義とアクティブ・ラーニング | 講義で学んだことを復習する | 30 |
| 15 | 課題発表・相互評価 | 林 | 講義とパソコンを用いた演習 | 講義で学んだことを復習する | 30 |

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

(幼DP2)【専門性をいかす技能】保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。

(幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。

アクティブ・ラーニング

○

実務経験

第2章 令和3年度入学生教育課程

1. 共通科目(生活学科・幼児教育保育学科・ビジネスコミュニケーション学科)

(1) 履修系統図

| | | 〔 前期開講 〕 | | 〔 後期開講 〕 | |
|--------------------------|--|----------------------------|---|--|-------------|
| 1 群 芸術や文化を学ぶ | ことばと人間 近江学入門 | 音楽とは何か | 国際地理 | | |
| 1 群 社会や心理を考える | 子ども社会 心と身体のヘルスケア 日本国憲法 <small>生幼</small> | 生活文化論 心理学 | 教育を考える テレビ映像と現代社会 子どもの世界 | 日本国憲法 <small>ビ幼</small> | |
| 1 群 科学でとらえる | | | 現代の健康 データ分析入門 | 数の不思議 | |
| | | 〔 1 回生 前期 〕 | 〔 1 回生 後期 〕 | 〔 2 回生 前期 〕 | 〔 2 回生 後期 〕 |
| 1 群 体育について学び体験する | スポーツ実技(テニス) <small>食・ラ</small> スポーツ実技(バレー) <small>食・ラ</small> スポーツ実技(フィットネス) <small>食・ラ</small> スポーツ実技(ボウリング&ゴルフ)(集) スポーツ実技(キャンプ)(集) | 健康スポーツ論 <small>食・ラ</small> | スポーツ実技(テニス) <small>製</small> スポーツ実技(バレー) <small>製</small> スポーツ実技(フィットネス) <small>製</small> | 健康スポーツ論 <small>製幼</small> スポーツ実技(テニス) <small>幼</small> スポーツ実技(バレー) <small>幼</small> スポーツ実技(フィットネス) <small>幼</small> | |
| 2 群 外国語コミュニケーション能力を養う | 英語 I → 英語 II フランス語 I → フランス語 II 中国語 I → 中国語 II (留学)日本語 I → (留学)日本語 II | | 英語 I → 英語 II <small>製</small> フランス語 I → フランス語 II <small>製</small> 中国語 I → 中国語 II <small>製</small> | | |
| 3 群 キャリア形成を考える | キャリア基礎演習 | | キャリアデザイン演習 <small>ビ</small> | キャリアデザイン演習 <small>生幼</small> | |
| 4 群 環びわ湖 単位互換科目 | | | | | |
| 5 群 すみれ基礎科目 | 生活文化入門(集) 子ども理解入門(集) ビジネス入門(集) | | | | |

(集)…集中授業

(不開講科目)美術をみる目、英文学、現代社会と福祉、国際理解、世界のことばと文化、デイリー・ライフ・イングリッシュ、トラベル・イングリッシュ、保育音楽入門

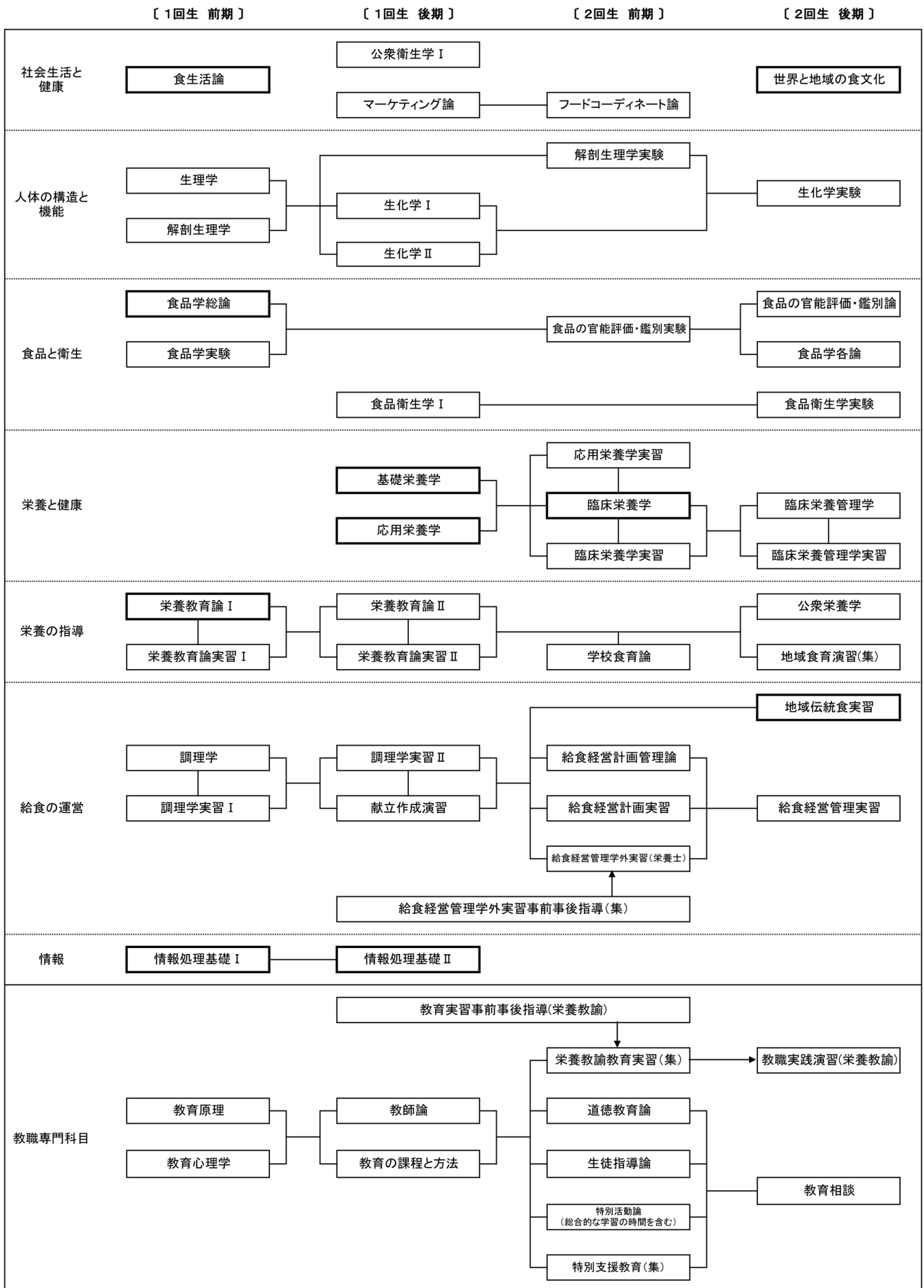
(2) カリキュラム表

| | 科目ナンバ | 授 業 科 目 | 形 態 | 単 位 数 | 卒 業 | 卒 単 位 必 要 数 | 栄 教 ・ 幼 免 | 保 育 士 | 准 学 校 心 理 士 | 観 光 実 務 士 | 授 業 回 数 | | | | 担 当 教 員 (○は非常勤講師) | C A P 除 外 | 備 考 | |
|--------------|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------|-------|------|-------------|-----------|-------|-------------|-----------|---------|-------------|-------------|--------------|---|--|--------|------------|
| | | | | | | | | | | | 1年次 | | 2年次 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | 前 | 後 | 前 | 後 | | | | |
| 共通科目 | | | | | (54) | | | | | | | | | | | | | |
| 1 群 | 芸術や文化を学ぶ | GE1B01 | こ と ば と 人 間 | 講義 | 2 | △ | | | | | | 15 | 15 | | ○武内 康則 | | | |
| | | | ※美 術 を み る 目 的 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | GE1B03 | 音 楽 と は 何 か | 講義 | 2 | △ | | | | | | | 15 | 15 | | ○榎本 ともみ | | |
| | | GE1B04 | 近 江 学 入 門 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | 15 | 15 | | ○秋山 元秀 | | |
| | | GE1B05 | 国 際 地 理 | 講義 | 2 | △ | | | | | △ | | 15 | 15 | | ○秋山 元秀 | | |
| | | ※英 文 学 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ※世 界 の こ と ば と 文 化 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 社会や心理を考える | GE1B06 | テ レ ビ 映 像 と 現 代 社 会 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | 15 | 15 | | ○山本 泰弘 | | |
| | | GE1B07 | 教 育 を 考 え る | 講義 | 2 | △ | | | | | | | 15 | 15 | | ○笹倉千佳弘 | | |
| | | GE1B08 | 心 理 学 | 講義 | 2 | △ | | | | △ | | | 15 | 15 | | ○早川 滋人 | | |
| | | GE1B09 | 心 と 身 体 の ヘ ル ス ケ ア | 講義 | 2 | △ | | | | | | | 15 | 15 | | ○神村 有紀 | | |
| | | GE1B10 | 生 活 文 化 論 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | 15 | 15 | | ○森 治子 | | |
| | | GE1B11 | 子 ど も の 社 会 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | 15 | 15 | | ○笹倉千佳弘 | | |
| | | GE1B34 | 子 ど も の 世 界 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | 15 | 15 | | ○松村 都子 | | |
| | | | ※現 代 社 会 と 福 祉 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ※国 際 理 解 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| GE1B13 | 日 本 国 憲 法 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | ○ | 生幼 15 15 | | ○渡邊 暁彦 | | | | |
| 科学でとらえる | GE1B14 | 現 代 の 健 康 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | 15 | 15 | | ○田中 裕之 | | | |
| | GE1B15 | 数 の 不 思 議 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | 15 | 15 | | ○久米 央也 | | | |
| | GE1B16 | デ ー タ 分 析 入 門 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | 15 | 15 | | ○小山内幸治 | | 履修条件あり | |
| 体育について学び体験する | GE1B17 | 健 康 ス ポ ー ツ 論 | 講義 | 1 | △ | | | | | | ○ | ○ | 食幼 8 8 | | ○山下 伸一 ○山村 聡 | | | |
| | GE1B18 | ス ポ ー ツ 実 技 (テ ニ ス) | 実技 | 1 | △ | | | | | | △ | △ | 食幼 15 15 | 製 幼 15 15 | ○山中 博史 | | | |
| | GE1B19 | ス ポ ー ツ 実 技 (フ ィ ッ ト ネ ス) | 実技 | 1 | △ | | | | | | △ | △ | 食幼 15 15 | 製 幼 15 15 | ○北尾 岳夫 | | | |
| | GE1B20 | ス ポ ー ツ 実 技 (バ レ ー) | 実技 | 1 | △ | | | | | | △ | △ | 食幼 15 15 | 製 幼 15 15 | ○山村 聡 | | | |
| | GE1B21 | ス ポ ー ツ 実 技 (ボ ウ リ ン グ & ゴ ル フ) | 実技 | 1 | △ | | | | | | △ | △ | (集) | | ○北尾 岳夫 ○山中 博史 | | | |
| | GE1B22 | ス ポ ー ツ 実 技 (キ ャ ン プ) | 実技 | 1 | △ | | | | | | △ | △ | (集) | | ○北尾 岳夫 ○山中 博史 | | | |
| | GE1B23 | ス ポ ー ツ 実 技 (ス ノ ー ス ポ ー ツ) | 実技 | 1 | △ | | | | | | △ | △ | (集) | | ○北尾 岳夫 ○山中 博史 | | | |
| 2 群 | 留学生のために | GE1B24 | 日 本 語 I | 演習 | 1 | △ | | | | | | 15 | | | ○清水 美里 | | 留学生対象 | |
| | | GE1B25 | 日 本 語 II | 演習 | 1 | △ | | | | | | | 15 | | | ○清水 美里 | | |
| | 外国語コミュニケーション能力を養う | GE1B26 | 英 語 I | 演習 | 1 | △ | | | | | | △ | △ | 15 | 製 15 | ○内田 幸代 ○篠 直樹 | | セットで履修すること |
| | | GE1B27 | 英 語 II | 演習 | 1 | △ | | | | | | △ | △ | 15 | 製 15 | ○内田 幸代 ○篠 直樹 | | セットで履修すること |
| | | GE1B28 | フ ラ ン ス 語 I | 演習 | 1 | △ | | | | | | △ | △ | 15 | 製 15 | ○柴田 秀樹 | | セットで履修すること |
| | | GE1B29 | フ ラ ン ス 語 II | 演習 | 1 | △ | | | | | | △ | △ | 15 | 製 15 | ○柴田 秀樹 | | セットで履修すること |
| | | GE1B30 | 中 国 語 I | 演習 | 1 | △ | | | | | | △ | △ | 15 | 製 15 | ○李 景芳 | | セットで履修すること |
| | | GE1B31 | 中 国 語 II | 演習 | 1 | △ | | | | | | △ | △ | 15 | 製 15 | ○李 景芳 | | セットで履修すること |
| | ※デ イ リ ー ・ ラ イ フ ・ イ ン グ リ ッ シ ュ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ※ト ラ ベ ル ・ イ ン グ リ ッ シ ュ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 群 | キャリア形成を考える | GE1B32 | キ ャ リ ア 基 礎 演 習 | 演習 | 1 | ○ | | | | | | 8 | | | 全 教 員 | | | |
| | | GE1C01 | キ ャ リ ア デ ザ イ ン 演 習 | 演習 | 1 | ○ | | | | | | | ビ 8 | 生幼 8 8 | 全 教 員 | | | |
| 4 群 | | GE1B33 | 環 び わ 湖 単 位 互 換 科 目 | | △ | | | | | | | | | | | | 8単位以内 | |
| 5 群 | すみれ基礎科目 | GE1A01 | 生 活 文 化 入 門 | 講義 | 1 | △ | | | | | | (集) | | | ○中平真由 ○清水まゆみ ○原 知子 ○石井 明 ○笹倉千佳弘 ○山岡ひとみ ○河村 梨花 | | | |
| | | GE1A02 | 子 ど も 理 解 入 門 | 演習 | 1 | △ | | | | | | (集) | | | ○北尾 岳夫 ○榎本 ともみ ○深尾 秀一 ○久米 央也 ○李 霞 ○三上 佳子 ○松井 典子 ○永久 欣也 ○保田 恵利 | | 2単位以内 | |
| | | | ※保 育 音 楽 入 門 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | GE1A03 | ビ ジ ネ ス 入 門 | 講義 | 1 | △ | | | | | | | (集) | | | ○沖山 圭子 ○小山内幸治 ○山中 博史 ○江見 和明 ○若生眞理子 ○中村 吉弘 ○伊澤 亮介 | | |

【注】日本語Ⅰ・Ⅱは外国人留学生対象開講科目です。 ※は不開講、○は必修科目、△は選択科目

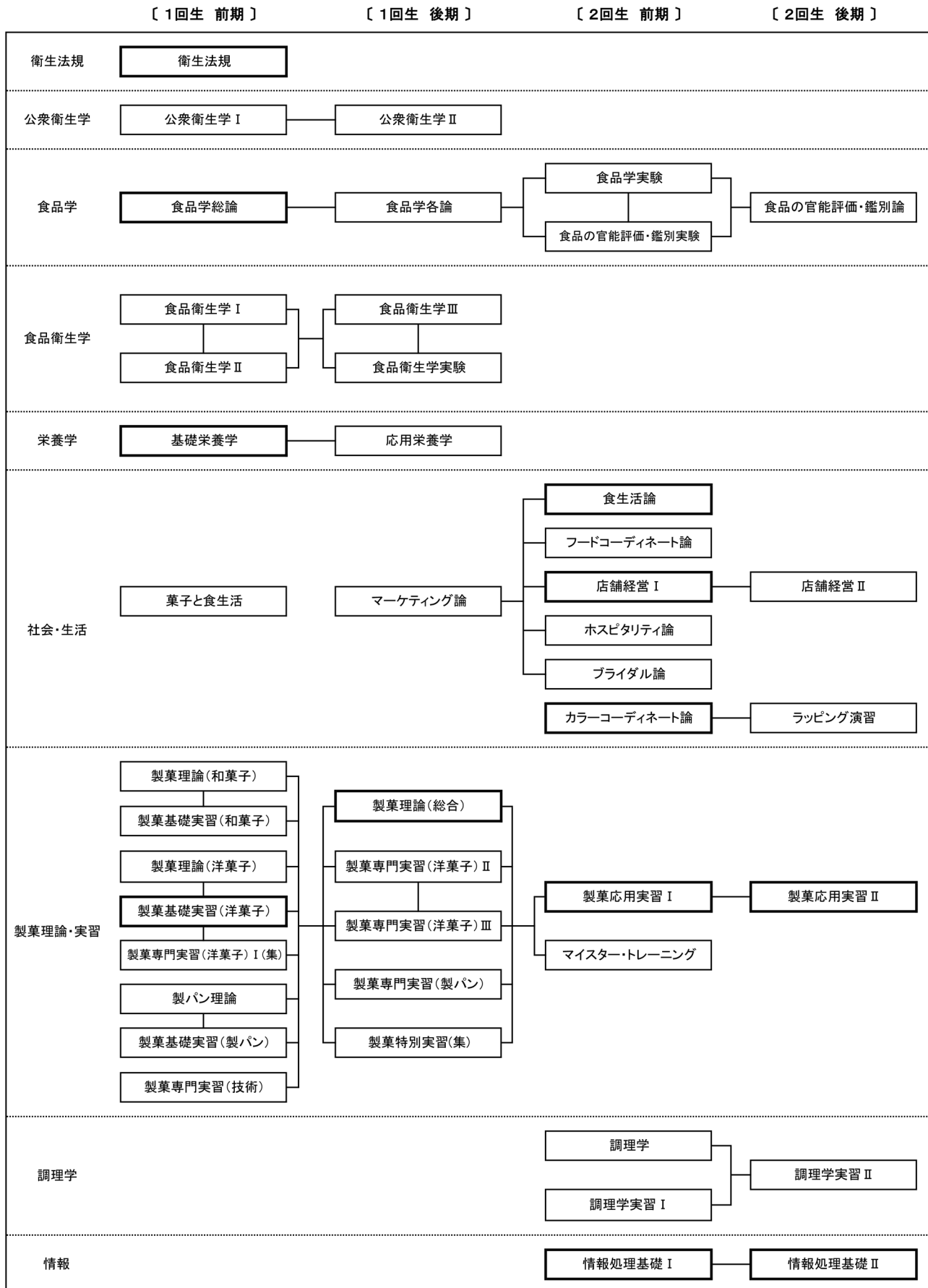
2. 生活学科 専門科目・教職専門科目

(1) 履修系統図 (食健康コース)



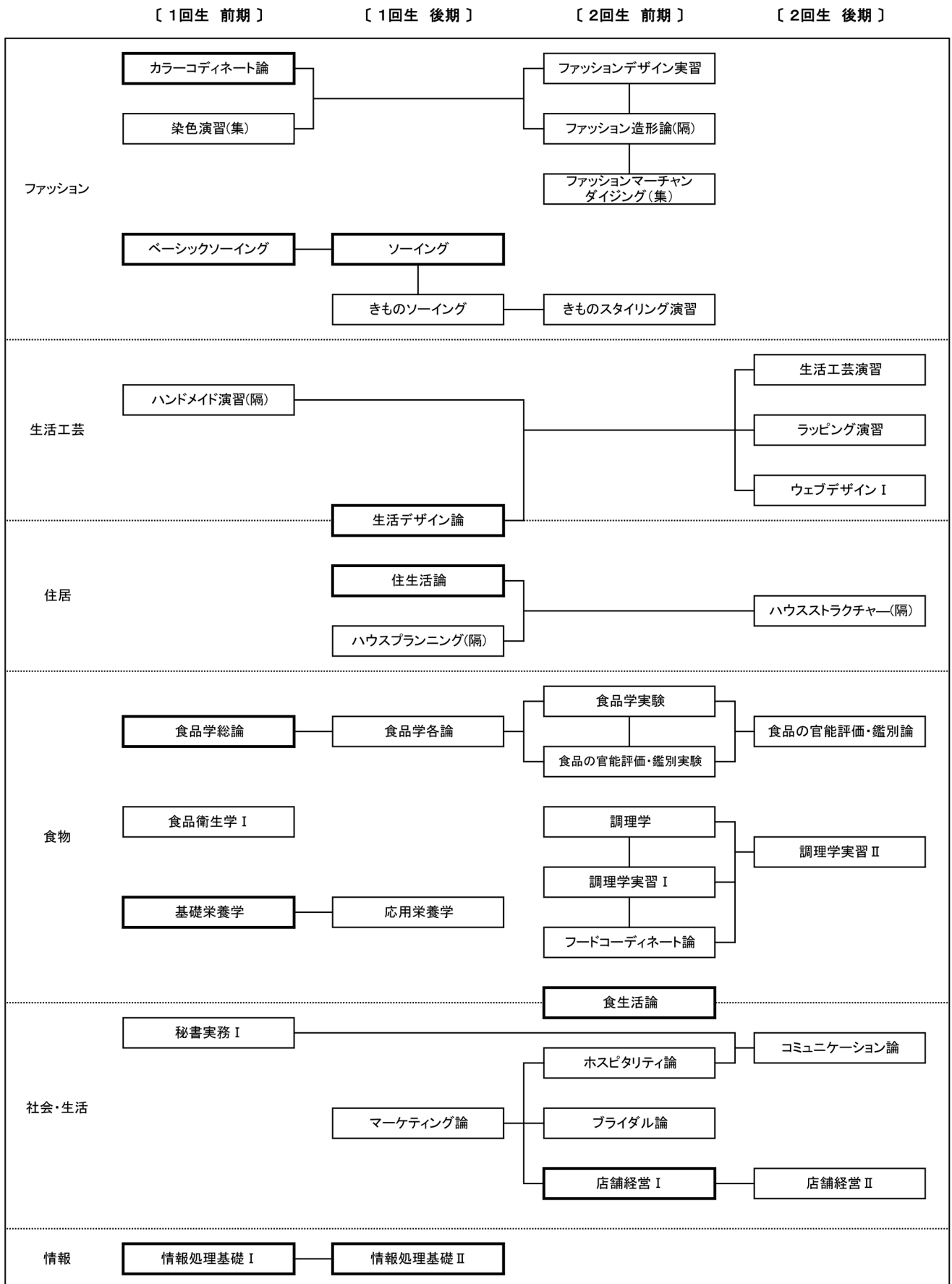
(集)・・・集中授業

履修系統図 (製菓・製パンコース)



(集)・・・集中授業

履修系統図 (ライフデザインコース)



(集)・・・集中授業 (隔)・・・隔年開講

(2) カリキュラム表

| 科目ナンバ | 授 業 科 目 | 形 態 | 単 位 数 | 卒業 (○:必修、△:選択) | | | 栄 養 士 | 栄 養 教 諭 | S E | F S | 授業回数 | | | | 担当教員 (○は非常勤講師) | C A P 除 外 | 備 考 |
|--------|-------------------|----------|-------|---------------------|---------------------------|-----------------------------|-------|---------|--------|--------|------|----------|-------|---------------------------|-------------------|-----------------------|--------|
| | | | | 食健康 (17) (50) | 製薬 製パン (22) (54) | ライフ デザイン (20) (48) | | | | | 1年次 | | 2年次 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 前 | 後 | 前 | 後 | | | |
| | 専門科目 | 必修 選択 | (148) | (17) (50) | (22) (54) | (20) (48) | (51) | (55) | (48) | (21) | | | | | | | |
| LS2B01 | 食 生 活 論 | 講義 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | 15 | | | 原 知子 | | | |
| LS2B02 | 情 報 処 理 基 礎 I | 演習 | 1 | ○ | | ○ | | | | | 15 | | 15 | ○小笠原真夫 | | | |
| LS2B03 | 情 報 処 理 基 礎 II | 演習 | 1 | ○ | | ○ | | | | | | 15 | | ○小笠原真夫 | | | |
| LS2B04 | 公 衆 衛 生 学 I | 講義 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | 15 | | | ○吉岡 敏彦 | | | |
| LS2B05 | 公 衆 衛 生 学 II | 講義 | 2 | | △ | | | ○ | | | | 15 | | ○林 宏一 | | | |
| LS2B06 | 衛 生 法 規 | 講義 | 2 | | ○ | | | ○ | | | 15 | | | ○林 宏一 | | | |
| LS2B07 | 生 理 学 | 講義 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | 15 | | | 田中 裕之 | | | |
| LS2B08 | 解 剖 生 理 学 | 講義 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | 15 | | | 田中 裕之 | | | |
| LS2C01 | 解 剖 生 理 学 実 験 | 実験 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | | 12 | | 田中 裕之 ○宇田川 潤 ○内村 康寛 | | | |
| LS2B09 | 生 化 学 I | 講義 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | 15 | | | 清水まゆみ | | | |
| LS2B10 | 生 化 学 II | 講義 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | 15 | | | 清水まゆみ | | | |
| LS2C02 | 生 化 学 実 験 | 実験 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | | 12 | | 清水まゆみ | | | |
| LS2B11 | 食 品 学 総 論 | 講義 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 15 | | | 清水まゆみ | | | |
| LS2B12 | 食 品 学 各 論 | 講義 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | | 15 | | 原 知子 | | | |
| LS2B13 | 食 品 学 実 験 | 実験 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | 12 | | 12 | 清水まゆみ | | | |
| LS2B14 | 食 品 衛 生 学 I | 講義 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | | 15 | | ○島田伊久三 ○吉岡 敏彦 | | | |
| LS2B15 | 食 品 衛 生 学 II | 講義 | 2 | | △ | | | ○ | | | 16 | | | ○井上 剛彦 | | | |
| LS2B16 | 食 品 衛 生 学 III | 講義 | 2 | | △ | | | ○ | | | 16 | | | ○井上 剛彦 | | | |
| LS2B17 | 食 品 衛 生 学 実 験 | 実験 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | | 12 | 12 | ○井上 剛彦 | | | |
| LS2B18 | 基 礎 栄 養 学 | 講義 | 2 | ○ | | | ○ | ○ | | | 15 | | | 清水まゆみ | | | |
| LS2B19 | 応 用 栄 養 学 | 講義 | 2 | ○ | | | ○ | ○ | | | 15 | | | 灰藤友理子 山岡ひとみ | | | |
| LS2C03 | 応 用 栄 養 学 実 習 | 実習 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | | 12 | | 灰藤友理子 | | | |
| LS2C04 | 臨 床 栄 養 学 | 講義 | 2 | ○ | | | ○ | ○ | | | | 15 | | 山岡ひとみ | | | |
| LS2C05 | 臨 床 栄 養 管 理 学 | 講義 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | | | 15 | 山岡ひとみ | | | |
| LS2C06 | 臨 床 栄 養 学 実 習 | 実習 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | | 12 | | 山岡ひとみ | | | |
| LS2C07 | 臨 床 栄 養 管 理 学 実 習 | 実習 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | | 12 | | 山岡ひとみ | | | |
| LS2B20 | 栄 養 教 育 論 I | 講義 | 2 | ○ | | | ○ | ○ | | | 15 | | | 灰藤友理子 | | | |
| LS2B21 | 栄 養 教 育 論 II | 講義 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | | 15 | | 灰藤友理子 | | | |
| LS2B22 | 栄 養 教 育 論 実 習 I | 実習 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | 12 | | | 灰藤友理子 | | | |
| LS2B23 | 栄 養 教 育 論 実 習 II | 実習 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | | 12 | | ○奈田 陽子 | | | |
| LS2C08 | 公 衆 栄 養 学 | 講義 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | | | 15 | ○山中千佳也 | | | |
| LS2B24 | 調 理 学 | 講義 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | 15 | | 15 | 中平真由巳 | | | |
| LS2B25 | 調 理 学 実 習 I | 実習 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | 12 | | 12 | 中平真由巳 | | | |
| LS2B26 | 調 理 学 実 習 II | 実習 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | 12 | | 12 | 中平真由巳 | | | |
| LS2C09 | 給 食 経 営 計 画 管 理 論 | 講義 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | | 15 | | 山岡ひとみ | | | |
| LS2C10 | 給 食 経 営 計 画 実 習 | 実習 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | | 12 | | 山岡ひとみ | | | |
| LS2C11 | 給 食 経 営 管 理 実 習 | 実習 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | | | 12 | 山岡ひとみ | | | |
| LS2C12 | 給食経営管理学外実習(栄養士) | 実習 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | | (集) | | 山岡ひとみ | ☆ | 最終初 | |
| LS2C13 | 給食経営管理学外実習事前事後指導 | 演習 | 1 | △ | | | ○ | ○ | | | | (集)(8 7) | | 山岡ひとみ | | 最終初 | |
| LS2C14 | 世 界 と 地 域 の 食 文 化 | 講義 | 2 | ○ | | | | | | | | | 15 | 中平真由巳 | | | |
| LS2C15 | 地 域 伝 統 食 実 習 | 実習 | 1 | ○ | | | | | | | | | 12 | 中平真由巳 | | | |
| LS2B27 | 献 立 作 成 演 習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | 15 | | 灰藤友理子 | | | |
| LS2C16 | 学 校 食 育 論 | 講義 | 2 | △ | | | | ○ | | | | | 15 | 灰藤友理子 | | | |
| LS2B28 | 地 域 食 育 演 習 | 演習 | 2 | △ | | | | | | | | | 15(集) | 中平真由巳 灰藤友理子 | | | |
| | ※菓 子 と 食 生 活 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LS2B30 | 製 菓 理 論 (総 合) | 講義 | 2 | | ○ | | | ○ | | | | 15 | | ○増田 絵美 | | | |
| LS2B31 | 製 菓 理 論 (和 菓 子) | 講義 | 2 | | △ | | | ○ | | | | 15 | | ○野田 敏夫 | | | |
| LS2B32 | 製 菓 理 論 (洋 菓 子) | 講義 | 2 | | △ | | | ○ | | | | 15 | | ○増田 絵美 | | | |

| 科目ナンバ | 授 業 科 目 | 形 態 | 単 位 数 | 卒業 (○:必修、△:選択) | | | 栄 養 士 | 栄 養 教 諭 | S E | F S | 授業回数 | | | | 担当教員 (○は非常勤講師) | CAP 除 外 | 備 考 |
|--------|------------------|-----|-------|-------------------|-----------|-------------|-------|---------|--------|--------|-------|-------|-----|--------------------------------------|-------------------|------------|-----|
| | | | | 食健康 | 製菓 製パン | ライフ デザイン | | | | | 1年次 | | 2年次 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 前 | 後 | 前 | 後 | | | |
| LS2B33 | 製 パ ン 理 論 | 講義 | 2 | | △ | | | | ○ | | 15 | | | ○今井 悠輔 | | | |
| LS2B34 | 製菓基礎実習(和菓子) | 実習 | 2 | | △ | | | | ○ | | 15 | | | ○河地 章子 | | | |
| LS2B35 | 製菓基礎実習(洋菓子) | 実習 | 2 | | ○ | | | | ○ | | 15 | | | ○前田 省三 | | | |
| LS2B36 | 製菓基礎実習(製パン) | 実習 | 2 | | △ | | | | ○ | | 15 | | | ○今井 悠輔 | | | |
| LS2B37 | 製菓専門実習(洋菓子)Ⅰ | 実習 | 2 | | △ | | | | ○ | 15(集) | | | | ○前田 省三 | ☆ | | |
| LS2B38 | 製菓専門実習(洋菓子)Ⅱ | 実習 | 2 | | △ | | | | ○ | | 15 | | | 石井 明 | | | |
| LS2B39 | 製菓専門実習(洋菓子)Ⅲ | 実習 | 2 | | △ | | | | ○ | | 15 | | | 石井 明 | | | |
| LS2B40 | 製菓専門実習(技術) | 実習 | 2 | | △ | | | | ○ | 15 | | | | 石井 明 | | | |
| LS2B41 | 製菓専門実習(製パン) | 実習 | 2 | | △ | | | | ○ | | 15 | | | ○今井 悠輔 | | | |
| LS2C17 | 製菓応用実習Ⅰ | 実習 | 2 | | ○ | | | | | | 15 | | | 石井 明 | | | |
| LS2C18 | 製菓応用実習Ⅱ | 実習 | 2 | | ○ | | | | | | | 15 | | 石井 明 | | | |
| LS2C19 | マイスター・トレーニング | 実習 | 1 | | △ | | | | | | 15 | | | 石井 明 | | | |
| LS2C20 | 店舗経営Ⅰ | 演習 | 2 | | ○ | ○ | | | | | 15 | | | ○杉 律子 | | ビシ横断 | |
| LS2C21 | 店舗経営Ⅱ | 演習 | 1 | | △ | △ | | | | | | 15 | | ○矢嶋 聡 | | ビシ横断 | |
| LS2B42 | 製菓特別実習 | 実習 | 1 | | △ | | | | ○ | | (集) | | | 石井 明 | ☆ | | |
| LS2C22 | ラ ッ ピ ン グ 演 習 | 演習 | 1 | | △ | △ | | | | | | 15 | | 灰藤友理子 | | | |
| LS2C22 | フードコーディネート論 | 講義 | 2 | △ | △ | △ | | | | ○ | | 15 | | ○弓削 高広 ○佐野 文彦 ○濱地 伸一 ○馬場 知也 | | ビシ横断 | |
| LS2B43 | マーケティング論 | 講義 | 2 | △ | △ | △ | | | ○ | ○ | 15 | | | ○矢嶋 聡 | | | |
| LS2C23 | 食品の官能評価・鑑別論 | 講義 | 1 | △ | △ | △ | | | | ○ | | 8 | | | | | |
| LS2C24 | 食品の官能評価・鑑別実験 | 実験 | 1 | △ | △ | △ | | | | ○ | | 12 | | | | | |
| LS2B44 | ベーシック・ソーイング | 実習 | 2 | | | ○ | | | | | 15 | | | ○河村 梨花 | | | |
| LS2B45 | ソーイング | 実習 | 2 | | | ○ | | | | | 15 | | | ○河村 梨花 | | | |
| LS2B46 | きものソーイング | 実習 | 2 | | | △ | | | | | 15 | | | ○河村 梨花 | | | |
| LS2C25 | きものスタイリング | 演習 | 2 | | | △ | | | | | | 15 | | ○河村 梨花 | | | |
| LS2B47 | ハンドメイド演習 | 演習 | 2 | | | △ | | | | 15 | | | | ○河村 梨花 | | 隔年開講 | |
| LS2C26 | 生活工芸演習 | 演習 | 2 | | | △ | | | | | | 15 | | ○河村 梨花 | | | |
| LS2B48 | ファッション造形論 | 講義 | 2 | | | △ | | | | | | 15 | | ○河村 梨花 | | 隔年開講 | |
| LS2C27 | ファッションデザイン実習 | 実習 | 2 | | | △ | | | | | | 15 | | ○河村 梨花 | | | |
| LS2B49 | カラーコーディネート論 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | | 15 | | | ○河村 梨花 | | 隔年開講 | |
| LS2C29 | 染色演習 | 演習 | 2 | | | △ | | | | | 15(集) | | | ○村田 浩子 | | | |
| LS2B50 | 生活デザイン論 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | | 15 | | | ○森 治子 | | | |
| LS2B51 | 住 生 活 論 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | | 15 | | | ○木谷 康子 | | | |
| LS2C30 | ハウストラクチャー | 演習 | 2 | | | △ | | | | | | 15 | | ○木谷 康子 | | 隔年開講 | |
| LS2B52 | ハウプランニング | 講義 | 2 | | | △ | | | | | 15 | | | ○木谷 康子 | | 隔年開講 | |
| LS2B53 | 秘書実務Ⅰ | 演習 | 1 | | | △ | | | | | 15 | | | 若生真理子 | | ビシ横断 | |
| LS2C31 | ホスピタリティ論 | 講義 | 2 | | △ | △ | | | | | | 15 | | 中村 吉弘 | | ビシ横断 | |
| LS2C32 | フ ラ イ ダ ル 論 | 講義 | 2 | | △ | △ | | | | | | 15 | | 中村 吉弘 | | ビシ横断 | |
| LS2C33 | ウェブデザインⅠ | 講義 | 2 | | | △ | | | | | | 15 | | ○小笠原寛夫 | | ビシ横断 | |
| LS2C34 | コミュニケーション論 | 講義 | 2 | | | △ | | | | | | 15 | | 若生真理子 | | ビシ横断 | |
| LS2C35 | ファッションマーチャンダイジング | 演習 | 2 | | | △ | | | | | | 15(集) | | ○田島 等 | | | |

【注】○は必須科目、△は選択科目

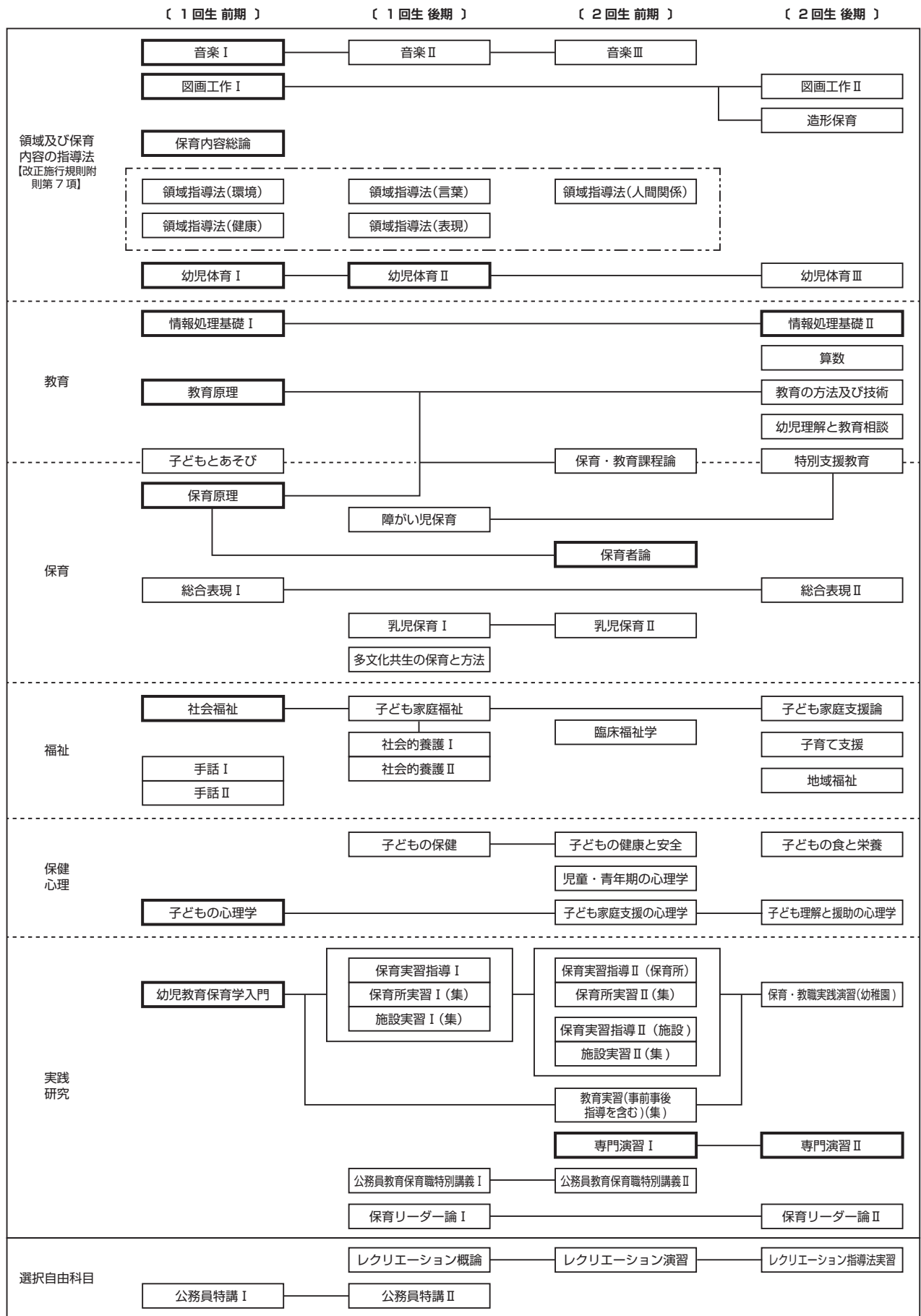
FSはフードスペシャリスト、SEは製菓衛生師受験資格の略です

教職専門科目

| 科目ナンバ | 授 業 科 目 | 形 態 | 単 位 数 | 卒業 (○:必修、△:選択) | | | 栄 養 士 | 栄 養 教 諭 | S E | F S | 授業回数 | | | | 担当教員 (○は非常勤講師) | CAP 除 外 | 備 考 |
|--------|-----------------------|-----|-------|-------------------|-----------|-------------|-------|---------|--------|--------|------|--------|-----|--------------------------|-------------------|---------------------|-----|
| | | | | 食健康 | 製菓 製パン | ライフ デザイン | | | | | 1年次 | | 2年次 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 前 | 後 | 前 | 後 | | | |
| | 教職専門科目 | | (19) | | | | | | | | | | | | | | |
| LS4B01 | 教 師 論 | 講義 | 2 | | | | | | ○ | | | 15 | | | 笹倉千佳弘 | | |
| LS4B02 | 教 育 原 理 | 講義 | 2 | | | | | | ○ | | 15 | | | 笹倉千佳弘 | | | |
| LS4B03 | 教 育 心 理 学 | 講義 | 2 | | | | | | ○ | | 15 | | | ○早川 滋人 | | | |
| LS4C01 | 特 別 支 援 教 育 | 講義 | 1 | | | | | | ○ | | | 8 | | ○太田 容次 | | | |
| LS4B04 | 教 育 の 課 程 と 方 法 | 講義 | 2 | | | | | | ○ | | 15 | | | 小山内幸治 | | | |
| LS4C02 | 道 徳 教 育 論 | 講義 | 1 | | | | | | ○ | | | 8 | | 笹倉千佳弘 | | | |
| LS4C03 | 特別活動論(総合的な学習の時間を含む) | 講義 | 1 | | | | | | ○ | | | 8 | | 笹倉千佳弘 | | | |
| LS4C04 | 生 徒 指 導 論 | 講義 | 2 | | | | | | ○ | | 15 | | | 笹倉千佳弘 | | | |
| LS4C05 | 教 育 相 談 | 講義 | 2 | | | | | | ○ | | | (集) | | ○志田 望 | | | |
| LS4C06 | 栄 養 教 諭 教 育 実 習 | 実習 | 1 | | | | | | ○ | | | (集) | | 灰藤友理子 笹倉千佳弘 | ☆ | 履修条件あり | |
| LS4C07 | 教 職 実 践 演 習 (栄 養 教 諭) | 演習 | 2 | | | | | | ○ | | | 15 | | 灰藤友理子 笹倉千佳弘 | | | |
| LS4B05 | 教育実習事前事後指導(栄養教諭) | 実習 | 1 | | | | | | ○ | | | (10 5) | | 灰藤友理子 笹倉千佳弘 ○濱口美弥子 | | 模擬授業 栄養教諭 の仕事 | |

3. 幼児教育保育学科 専門科目・選択自由科目

(1) 履修系統図



(集)…集中授業

(2) カリキュラム表

| 科目ナンバ | 授 業 科 目 | 形 態 | 単 位 数 | 卒 業 (○:必修、△:選択) | | 幼 免 (34)(4) | 保 育 士 (51)(27) | 准 学 校 心 理 士 (6) | レ ン ジ ン グ イ ン ス ト ラ ク チ ャ ー (2)(5) | 授 業 回 数 | | | | 担 当 教 員 (○は非常勤講師) | C A P 除 外 | 備 考 |
|--------|-----------------------|----------|-------|-----------------------|-------------|--------------|----------------|-----------------|------------------------------------|---------|----|-------|---|-------------------|-----------|-----|
| | | | | 子 童 心 理 学 | 子 童 心 理 学 | | | | | 1 年 次 | | 2 年 次 | | | | |
| | | | | | | | | | | 前 | 後 | 前 | 後 | | | |
| | 専門科目 | 必修 選択 | (97) | (21) (76) | (34) (4) | (51) (27) | (6) | (2) (5) | | | | | | | | |
| EC2B01 | 音 楽 I | 演習 | 1 | ○ | ○ | ○ | | ○ | 15 | | | | 袖木たまみ 松井典子 ○朝野典子 ○内田博世 ○遠藤玲子 ○小川麻里 ○奥戸雅子 ○北村英子 ○後藤由美子 ○塩出 優美 ○種子尾由里 ○田中 涼太 ○寺西 裕子 ○中尾ありか ○中塚 裕香 ○永山 直子 ○服部さやか ○橋本 加寿 ○松永 美穂 ○松澤 須美 | | | |
| EC2B02 | 音 楽 II | 演習 | 1 | △ | ○ | ○ | | | | 15 | | | | | | |
| EC2C01 | 音 楽 III | 演習 | 1 | △ (子どものあそびコース履修科目) | △ | △ | | | | | 15 | | | | | |
| EC2B03 | 図 画 工 作 I | 演習 | 1 | ○ | ○ | △ | | ○ | 15 | | | | 深尾 秀一 | | | |
| EC2C02 | 図 画 工 作 II | 演習 | 1 | △ | △ | ○ | | | | | 15 | | 深尾 秀一 | | | |
| EC2C03 | 造 形 保 育 | 演習 | 1 | △ | | △ | | | | | 15 | | ○安井 良尚 | | | |
| EC2B04 | 幼 児 体 育 I | 演習 | 1 | ○ | ○ | ○ | | △ | 15 | | | | ○村井 愛美 山中 博史 | | | |
| EC2B05 | 幼 児 体 育 II | 演習 | 1 | ○ | ○ | △ | | | | 15 | | | 北尾 岳夫 | | | |
| EC2C04 | 幼 児 体 育 III | 演習 | 1 | △ | | △ | | | | | 15 | | 山中 博史 北尾 岳夫 | | | |
| EC2B06 | 情 報 処 理 基 礎 I | 演習 | 1 | ○ | ○ | | | | 15 | | | | ○林 泰子 | | | |
| EC2C05 | 情 報 処 理 基 礎 II | 演習 | 1 | ○ | ○ | | | | | | 15 | | ○林 泰子 | | | |
| EC2C06 | 算 数 | 講義 | 2 | ○ | △ | | | | | | 15 | | 久米 央也 | | | |
| EC2B07 | 教 育 原 理 | 講義 | 2 | ○ | ○ | ○ | | | 15 | | | | 李 霞 | | | |
| EC2C07 | 教 育 の 方 法 及 び 技 術 | 演習 | 2 | △ | ○ | | | | | | 15 | | ○西郷南海子 | | | |
| EC2C08 | 保 育 ・ 教 育 課 程 論 | 講義 | 2 | △ | ○ | ○ | | | | | 15 | | ○西郷南海子 | | | |
| EC2B08 | 保 育 原 理 | 講義 | 2 | ○ | ○ | ○ | | | 15 | | | | 永久 欣也 | | | |
| EC2C09 | 保 育 者 論 | 講義 | 2 | ○ | ○ | ○ | | | | | 15 | | 永久 欣也 | | | |
| EC2B09 | 総 合 表 現 I | 演習 | 1 | △ (子どものあそびコース履修科目) | | △ | | △ | 15 | | | | 松井 典子 ○村井 愛美 | | | |
| EC2C10 | 総 合 表 現 II | 演習 | 1 | △ (子どものあそびコース履修科目) | | △ | | | | | 15 | | 松井 典子 ○村井 愛美 | | | |
| EC2B10 | 領 域 指 導 法 (表 現) | 演習 | 1 | △ | ○ | ○ | | △ | | 15 | | | 三上 佳子 深尾 秀一 袖木たまみ 松井 典子 | | | |
| EC2B11 | 領 域 指 導 法 (言 葉) | 演習 | 1 | △ | ○ | ○ | | | | 15 | | | 保田 恵莉 | | | |
| EC2C11 | 領 域 指 導 法 (人 間 関 係) | 演習 | 1 | △ | ○ | ○ | | | | | 15 | | 保田 恵莉 | | | |
| EC2B12 | 領 域 指 導 法 (環 境) | 演習 | 1 | △ | ○ | ○ | | | 15 | | | | 久米 央也 | | | |
| EC2B13 | 領 域 指 導 法 (健 康) | 演習 | 1 | △ | ○ | ○ | | | 15 | | | | 北尾 岳夫 | | | |
| EC2B14 | 保 育 内 容 総 論 | 演習 | 1 | ○ | ○ | ○ | | | 15 | | | | 三上 佳子 | | | |
| EC2B15 | 乳 児 保 育 I | 講義 | 2 | △ | | ○ | | | | 15 | | | ○内藤 幸枝 ○杉田のり子 | | | |
| EC2C12 | 乳 児 保 育 II | 演習 | 1 | △ | | ○ | | | | 8 | | | ○内藤 幸枝 ○杉田のり子 | | | |
| EC2B16 | 障 が い 児 保 育 | 演習 | 2 | △ | | ○ | △ | | | 15 | | | | | | |
| EC2C13 | 特 別 支 援 教 育 | 講義 | 1 | △ | ○ | △ | | | | | 8 | | ○太田 容次 | | | |
| EC2B17 | 多 文 化 共 生 の 保 育 と 方 法 | 講義 | 2 | △ (子どものあそびコース履修科目) | | △ | | | | 15 | | | 永久 欣也 | | | |
| EC2C14 | 子 童 心 理 学 | 演習 | 2 | △ | | ○ | | | | | 15 | | 原 知子 ○小谷 清子 | | | |
| EC2B18 | 子 童 心 理 学 | 講義 | 2 | △ | | ○ | | | | 15 | | | ○飯盛 順子 | | | |
| EC2C15 | 子 童 心 理 学 | 演習 | 1 | △ | | ○ | | | | 8 | | | ○飯盛 順子 | | | |
| EC2B19 | 子 童 心 理 学 | 講義 | 2 | ○ | ○ | ○ | △ | | 15 | | | | ○早川 滋人 | | | |
| EC2C16 | 子 童 心 理 学 | 演習 | 1 | △ | ○ | ○ | | | | | 8 | | 保田 恵莉 | | | |
| EC2C17 | 児 童 ・ 青 年 期 の 心 理 学 | 講義 | 2 | △ | △ | △ | | | | | 15 | | ○鳥丸佐知子 | | | |
| EC2C18 | 幼 児 理 解 と 教 育 相 談 | 講義 | 2 | △ | ○ | △ | △ | | | | 15 | | ○早川 滋人 | | | |
| EC2B20 | 社 会 福 祉 | 講義 | 2 | ○ | | ○ | | △ | 15 | | | | ○岡本 芳也 | | | |
| EC2C19 | 子 童 心 理 学 | 講義 | 2 | △ | | ○ | | | | | 15 | | ○前川 頼子 | | | |
| EC2B21 | 子 童 心 理 学 | 講義 | 2 | △ | | ○ | | | | 15 | | | ○楊 慧敏 | | | |

| 科目ナンバ | 授業科目 | 形態 | 単位数 | 卒業 (○:必修、△:選択) | | 幼 免 | 保 育 士 | 准 学 校 心 理 士 | レ ク リ エ ー シ ョ ン | イ ン ス ト ラ ク タ ー | 授業回数 | | | | 担当教員 (○は非常勤講師) | C A P 除 外 | 備 考 |
|--------|-----------------------------|----|-----|-------------------|------------------|--------|-------------|----------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------|-----------|-----|---|-------------------|-----------------------|--------|
| | | | | 子どもの 発達と 心理 | 子どもの あそび | | | | | | 1年次 | | 2年次 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 前 | 後 | 前 | 後 | | | |
| EC2C20 | 臨 床 福 祉 学 | 講義 | 2 | △ | (子どものあそびコース選択科目) | | △ | | | | | 15 | | ○田中 彰 | | | |
| EC2B22 | 社 会 的 養 護 I | 講義 | 2 | △ | | | ○ | | | | | 15 | | ○木塚 勝豊 | | | |
| EC2B23 | 社 会 的 養 護 II | 演習 | 1 | △ | | | ○ | | | | | 8 | | ○大久保和久 | | | |
| EC2C21 | 子 ども 家 庭 支 援 の 心 理 学 | 講義 | 2 | △ | | | ○ | | | | | 15 | | ○鳥丸佐知子 | | | |
| EC2C22 | 子 育 て 支 援 | 演習 | 1 | △ | | | ○ | | | | | | 8 | 松村 都子 | | | |
| EC2B24 | 子 ども と あ そ び | 演習 | 2 | △ | (子どものあそびコース選択科目) | | △ | | | | 15 | | | 三上 佳子 松井 典子 | | | |
| EC2C23 | 地 域 福 祉 | 講義 | 2 | △ | | | △ | | | | | | 15 | ○岡本 芳也 | | | |
| EC2B25 | 手 話 I | 演習 | 1 | △ | | | △ | | | | 8 | | | ○原田 直子 | | | |
| EC2C24 | 手 話 II | 演習 | 1 | △ | | | △ | | | | 8 | | | ○原田 直子 | | | |
| EC2B26 | 幼 児 教 育 保 育 学 入 門 | 講義 | 2 | ○ | | | | | | | 15 | | | 三上 佳子 松村 都子 | | | |
| EC2B27 | 保 育 実 習 指 導 I | 演習 | 2 | △ | | | ○ | | | | | 15 | | 三上 佳子 永久 欣也 保田 恵莉 松村 都子 松井 典子 | | 履修条件あり | |
| EC2B28 | 保 育 所 実 習 I | 実習 | 2 | △ | | | ○ | | | | (集) | | | 三上 佳子 松村 都子 松井 典子 | | 履修条件あり | |
| EC2B29 | 施 設 実 習 I | 実習 | 2 | △ | | | ○ | | | | (集) | | | 永久 欣也 保田 恵莉 | | 履修条件あり | |
| EC2C25 | 保 育 実 習 指 導 II (保 育 所) | 演習 | 1 | △ | | | △ | | | | | 15 | | 三上 佳子 松村 都子 松井 典子 | | 履修条件あり | |
| EC2C26 | 保 育 所 実 習 II | 実習 | 2 | △ | | | △ | | | | (集) | | | 三上 佳子 松村 都子 松井 典子 | | 履修条件あり | |
| | ※保 育 実 習 指 導 II (施 設) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ※施 設 実 習 II | | | | | | | | | | | | | | | | |
| EC2C29 | 教 育 実 習 (事 前 事 後 指 導 を 含 む) | 実習 | 5 | △ | | | ○ | | | | | 15 (集) | | 三上 佳子 久米 央也 柚木たまみ | ☆ | 履修条件あり | |
| EC2C30 | 保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 (幼 稚 園) | 演習 | 2 | △ | | | ○ | ○ | | | | 15 | | 永久 欣也 三上 佳子 李 霞 久米 央也 | ☆ | 履修条件あり | |
| EC2C31 | 専 門 演 習 I | 演習 | 1 | ○ | | | | | | | | 15 | | 全専任教員 | | | |
| EC2C32 | 専 門 演 習 II | 演習 | 1 | ○ | | | | | | | | 15 | | 全専任教員 | | | |
| EC2B30 | 保 育 リ ー ダ ー 論 I | 演習 | 1 | △ | | | △ | | | | 8 | | | 三上 佳子 | | アドバンス | |
| EC2C33 | 保 育 リ ー ダ ー 論 II | 演習 | 1 | △ | | | △ | | | | | 8 | | 三上 佳子 | | アドバンス | |
| EC2B31 | 公 務 員 教 育 保 育 職 特 別 講 義 I | 講義 | 2 | △ | | | | | | | 15 | | | 久米 央也 | | | |
| EC2C34 | 公 務 員 教 育 保 育 職 特 別 講 義 II | 講義 | 2 | △ | | | | | | | | 15 | | 久米 央也 | | | |

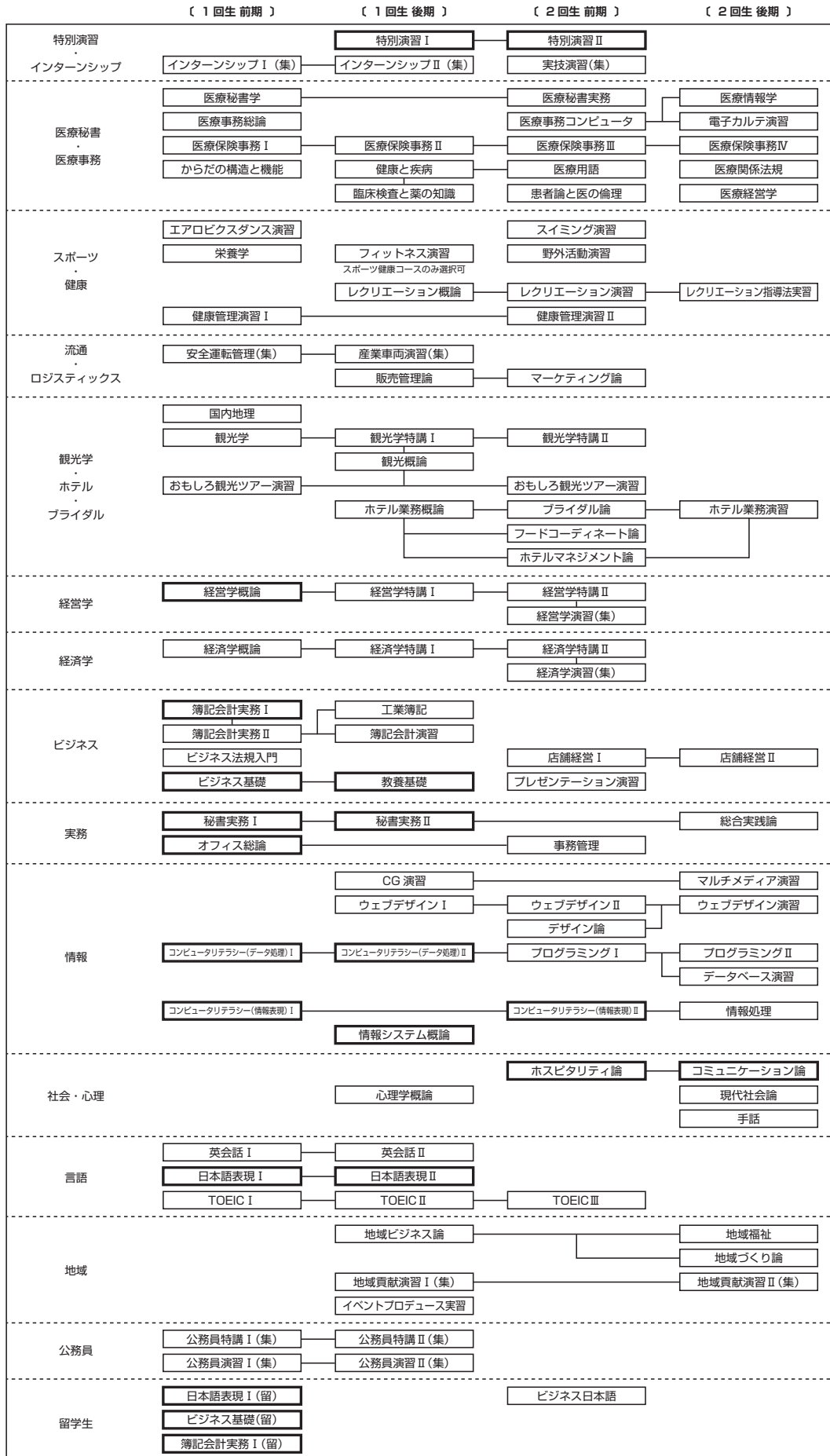
【注】○は必修科目、△は選択科目（資格の△は選択必修科目）

選択自由科目

| 科目ナンバ | 授業科目 | 形態 | 単位数 | 卒業 (○:必修、△:選択) | | 幼 免 | 保 育 士 | 准 学 校 心 理 士 | レ ク リ エ ー シ ョ ン | イ ン ス ト ラ ク タ ー | 授業回数 | | | | 担当教員 (○は非常勤講師) | C A P 除 外 | 備 考 |
|--------|---------------------------|----------|-----|-------------------|-------------|--------|-------------|----------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------|----|-----|------------------|-------------------|-----------------------|--------|
| | | | | 子どもの 発達と 心理 | 子どもの あそび | | | | | | 1年次 | | 2年次 | | | | |
| | | | | | | | | | | | 前 | 後 | 前 | 後 | | | |
| | 専門科目 | 必修 選択 | (6) | | | | | | | (4) | | | | | | | |
| EC3B01 | レ ク リ エ ー シ ョ ン 概 論 | 講義 | 2 | | | | | | | ○ | | 15 | | 山中 博史 | | | |
| EC3C01 | レ ク リ エ ー シ ョ ン 演 習 | 演習 | 1 | | | | | | | ○ | | 15 | | 山中 博史 | | | |
| EC3C02 | レ ク リ エ ー シ ョ ン 指 導 法 実 習 | 実習 | 1 | | | | | | | ○ | | 15 | | 山中 博史 | | | |
| EC3B02 | 公 務 員 特 講 I | 演習 | 1 | | | | | | | | 15 | | | ○長谷川正雄 ○椿井 真也 | | | |
| EC3B03 | 公 務 員 特 講 II | 演習 | 1 | | | | | | | | | 15 | | ○長谷川正雄 | | | |

4. ビジネスコミュニケーション学科 専門科目

(1) 履修系統図



(集)…集中授業

| 科目 ナンバ- | 授 業 科 目 | 形 態 | 単 位 数 | 卒 業 必 修 選 択 | | | | 上 級 情 報 処 理 士 | ウ エ ン ツ ァ ン | 上 級 ビ ジ ネ ス 実 務 士 | ビ ジ ネ ス 実 務 士 | 口 頭 医 療 秘 書 | ロ ー マ ン 医 療 秘 書 | 上 級 秘 書 士 | レ ク リ エ ー シ ョ ン | イ ン ス ト ラ ク チ ャ | 健 康 勤 務 実 務 指 導 者 | 秘 書 士 | 情 報 処 理 士 | 医 療 秘 書 実 務 士 | 医 事 実 務 士 | 授 業 回 数 | | 担 当 教 員 (○は非常勤講師) | C A P 除 外 | 備 考 | | | |
|------------|---------------|-----|-------|-----------------------|---------|---------|------------|---------------|-------------|-------------------|---------------|-------------|-----------------|-----------|-----------------|-----------------|-------------------|-------|-----------|---------------|-----------|---------|-------|----------------------|--------------------------------------|----------------|----------|---|-------|
| | | | | ビ ジ ネ ス 実 務 | 医 療 事 務 | 観 光 実 務 | ス ポー ツ 健 康 | | | | | | | | | | | | | | | 前 | 後 | | | | 前 | 後 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 年 次 |
| BC2B31 | 医療保険事務Ⅱ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | 15 | | 沖山 圭子 | | | | | | |
| BC2C25 | 医療保険事務Ⅲ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 15 | | 沖山 圭子 | | | | |
| BC2C26 | 医療保険事務Ⅳ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | 15 | | 沖山 圭子 | | | |
| BC2C27 | 医療事務コンピュータ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | 15 | | 沖山 圭子 | | | |
| BC2C28 | 電子カルテ演習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | 15 | | 沖山 圭子 | | | |
| BC2B32 | 医療秘書学 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | ○ | △ | | | | | | | ○ | | | | 15 | | 沖山 圭子 | | | | |
| BC2C29 | 医療秘書実務 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | 15 | | 沖山 圭子 若生真理子 | | | |
| BC2C30 | 医療経営学 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 | | ○藤堂 隆司 | | | |
| BC2B33 | 医療事務総論 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | 15 | | | ○垣内美和子 | | | | |
| BC2C49 | 手話 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | △ | | | | | | 15 | | | | |
| BC2B34 | 簿記会計演習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 | | ○矢嶋 聡 | | | | |
| BC2B35 | 工業簿記 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 | | ○小山三亀雄 | | | | |
| BC2B36 | インターンシップⅠ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | (集) | | | 江見 和明 中村 吉弘 若生真理子 | | | | |
| BC2B37 | インターンシップⅡ | 演習 | 1 | △ | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | | (集) | | | 江見 和明 中村 吉弘 若生真理子 | | | | |
| BC2C31 | 実技演習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | ○ | | | | | | | | ○ | | | (集) | | | 沖山 圭子 若生真理子 | ☆ | 履修条件あり | | |
| BC2B38 | 栄養学 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 | | | ○三浦さつき | | | | |
| BC2B39 | 健康管理演習Ⅰ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | 15 | | | ○中田 佳和 | | | | |
| BC2C32 | 健康管理演習Ⅱ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | 15 | | ○北條 達也 ○山村 聡 | | | | |
| BC2B40 | 野外活動演習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | 15 | | 北尾 岳夫 | | | | |
| BC2B41 | レクリエーション概論 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | 15 | | | 山中 博史 | | | | |
| BC2C33 | レクリエーション演習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | 15 | | 山中 博史 | | | | |
| BC2C34 | レクリエーション指導法実習 | 実習 | 1 | △ | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | 15 | | 山中 博史 | | | | |
| BC2C35 | エアロビクスダンス演習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | △ | ○ | | | | | | | 15 | | | ○中川さやか | | | | |
| BC2B42 | フィットネス演習 | 演習 | 1 | △ (スポーツ健康コースの分選択可) | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 | | | 北尾 岳夫 | | | | |
| BC2B43 | スイミング演習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | △ | ○ | | | | | | | | 15 | | 山中 博史 | | | | |
| BC2B44 | 販売管理論 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 | | | 江見 和明 | | | | |
| BC2B45 | 安全運転管理 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | (集) | | | ○馬場 克巳 ○堤 | | | | |
| BC2B46 | 産業車両演習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | (集) | | | ○佐藤 尚 | | | | |
| BC2C36 | 地域づくり論 | 講義 | 2 | △ | | | | | | △ | | | | | | | | | | | | | 15 | | 江見 和明 | | | | |
| BC2C37 | 地域福祉 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | | | | | | | | | ○ | | | | 15 | | ○岡本 芳也 | | | | |
| BC2B47 | 地域貢献演習Ⅰ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | (集) | | | 小山内幸治 江見 和明 中村 吉弘 若生真理子 | | | | |
| BC2C38 | 地域貢献演習Ⅱ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | (集) | | | 小山内幸治 江見 和明 中村 吉弘 若生真理子 | | | | |
| BC2B48 | 公務員特講Ⅰ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | (集) | | | ○長谷川正雄 ○橋井 真也 | | | | |
| BC2B49 | 公務員特講Ⅱ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | (集) | | | ○長谷川正雄 | | | | |
| BC2B50 | 公務員演習Ⅰ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | (集) | | | 伊澤 亮介 | | | | |
| BC2C39 | 公務員演習Ⅱ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | (集) | | | 伊澤 亮介 | | | | |
| BC2C40 | 店舗経営Ⅰ | 演習 | 2 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 | | ○杉 律子 | | 生活横断 | | |
| BC2C41 | 店舗経営Ⅱ | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 | | ○杉 律子 | | 生活横断 | | |
| BC2C42 | フードコーディネート論 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 | | ○弓削 高広 ○佐野 文彦 ○濱地 紳一 ○馬場 知也 | | 生活横断 | | |
| BC2B51 | おもしろ観光ツアー演習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | △ | | | | | | | | | | | | 8 | | | ○平田 進也 | | | | |
| BC2B52 | イベントプロデュース実習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | ○谷奥 孝司 | | | | |
| BC2B53 | 経済学概論 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 | | | 小山内幸治 | | | | |
| BC2B54 | 経済学特講Ⅰ | 講義 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | 小山内幸治 | | GPA2.0以上 | | |
| BC2C43 | 経済学特講Ⅱ | 講義 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | 小山内幸治 | | GPA2.0以上 | | |
| BC2C44 | 経済学演習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | (集) | | | 小山内幸治 | | GPA2.0以上 | | |
| BC2B55 | 経営学特講Ⅰ | 講義 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | 江見 和明 | | GPA2.0以上 | | |
| BC2C45 | 経営学特講Ⅱ | 講義 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | 江見 和明 | | GPA2.0以上 | | |
| BC2C46 | 経営学演習 | 演習 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | (集) | | | 江見 和明 | | GPA2.0以上 | | |
| BC2B56 | 観光学特講Ⅰ | 講義 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | 中村 吉弘 | | GPA2.0以上 | | |
| BC2C47 | 観光学特講Ⅱ | 講義 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | 中村 吉弘 | | GPA2.0以上 | | |
| BC2B57 | T O E I C I | 講義 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | | 伊澤 亮介 | | | | |
| BC2B58 | T O E I C II | 講義 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | 伊澤 亮介 | | GPA2.0以上 | | |
| BC2C48 | T O E I C III | 講義 | 1 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | 伊澤 亮介 | | GPA2.0以上 | | |
| BC2C50 | ビジネス日本語 | 講義 | 2 | △ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 | | | | 留学生 | | |

【注】○は必修科目、△は選択科目（資格の△は選択必修科目）

滋賀短期大学委員会規程

令和2年3月2日 制定

令和2年10月1日 改正

(設置)

第1条 滋賀短期大学(以下、「本学」という。)の管理運営を円滑に推進し、重要事項の企画・審議を行うため、別に定めるもののほか、本学に次の委員会を置く。

企画委員会

教学マネジメント委員会

入学試験委員会

総務委員会

教務委員会

学生委員会

キャリア支援委員会

学生募集委員会

紀要・図書委員会

(審議事項等)

第2条 委員会の企画・審議事項、組織する委員及び事務処理は、別表1のとおりとする。

(任命等)

第3条 各委員会の委員のうち、職名指定の者以外の委員は学長が任命する。

2 前項の委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 第1項の委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、別表1に定める者をもって充てる。

2 前項の委員長の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

(運営)

第5条 委員会の会議は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

3 委員長が必要と認めたときは、委員以外の出席を求め、意見を聞くことができる。

(会議の特例)

第6条 前条第1項の規定にかかわらず、委員長が、緊急その他やむを得ない事由と認めるときは、書面等(電子システムを含む。)により議事を開き、議決することができる。

2 前項の議事については、前条第2項の規定を準用する。この場合において、「出席した委員」とあるのは当該議事に参加した者とする。

3 第1項の場合において、委員長は、当該議事の結果について委員が出席して開催される次の会議において報告しなければならない。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

(部会)

第8条 専門的事項の調査・検討等を行うため、別表2のとおり委員会に部会を置く。

2 部会委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 第5条から第7条までの規定は、部会に準用する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。

2 滋賀短期大学企画委員会規程（昭和48年11月8日制定）、滋賀短期大学教学マネジメント委員会規程（令和元年5月9日制定）、滋賀短期大学入学試験委員会規程（昭和48年11月8日制定）、滋賀短期大学教務委員会規程（昭和48年11月8日制定）、滋賀短期大学学生支援委員会規程（平成16年4月1日制定）、滋賀短期大学広報・図書委員会規程（平成20年1月10日制定）、滋賀短期大学学生募集委員会規程（平成12年7月6日制定）、滋賀短期大学倫理委員会規程（平成19年11月1日制定）、滋賀短期大学人権委員会規程（平成19年12月13日制定）、滋賀短期大学実習委員会規程（昭和57年3月25日制定）、滋賀短期大学国際交流委員会規程（平成20年3月6日制定）、滋賀短期大学施設整備委員会規程（平成19年12月13日制定）及び滋賀短期大学情報システム委員会規程（平成25年1月10日制定）は廃止する。

附 則

この規程は、令和2年10月1日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

別表1（第2条、第4条関係）

| 委員会名 | 企画・審議事項 | 委 員 | | | | 事務処理 |
|-------------|--|-----|------------|---------------------------|-----------------------------|------|
| | | 委員長 | 副委員長 | 職名指定委員 | 第3条第1項規定委員 | |
| 企画委員会 | (1)将来計画に関すること (2)教員組織に関すること (3)施設・設備に関すること (4)予算に関すること (5)その他本学の運営上重要な事項に関すること | 学長 | 学長が指定する副学長 | 副学長、学科長、学長補佐、図書館長、ALO事務局長 | 学科選出各1名（教授以外）、その他学長が必要と認めた者 | 総務課 |
| 教学マネジメント委員会 | (1)全学の教育方針の策定に関すること (2)教育の質的向上に関すること (3)教育の内部質保証に関すること | 学長 | 副学長（教学） | 副学長、学長補佐、学科長、学務課長 | 学科選出の教務委員各1名、その他学長が必要と認めた者 | 学務課 |

| | | | | | | |
|---------------|---|--------------|----------------------------|---|---------------------------------------|-------------|
| 入学試験委員会 | (1)入学試験制度に関すること (2)入学試験に関すること (3)入学試験の運営、問題作成、採点、面接及び監査等の委員の決定に関すること (4)入学試験結果の合否判定に関すること (5)再入学に関すること (6)その他入学試験の実施に関すること | 学長 | 学長補佐 (入試) | 副学長、 学科長、 学長補佐、 図書館長、 事務局長、 入試広報 課長 | その他学長が必 要と認めた者 | 入試広報 課 |
| 総務委員会 | (1)広報活動に関すること (2)倫理人権に関すること (3)国際交流に関すること (4)施設整備に関すること (5)情報システムに関すること | 副学長 (総務) | 委員の互 選により 選出され た者 | 総務課長 | 学科選出各2名 (委員長は所属 学科の選出数に 含む。) | 総務課 |
| 教務委員会 | (1)学生の退学、転学、休学及 び卒業等に関すること。 (2)カリキュラム、シラバス、 履修、試験及び成績評価に 関すること。 (3)教育の内容及び方法の改善 に関すること (4)その他教育課程の実施に関 すること | 学長補佐 (教務) | 委員の互 選により 選出され た者 | 学務課長 | 学科選出各2名 (委員長は所属 学科の選出数に 含む。) | 学務課 |
| 学生委員会 | (1)学生生活支援に関すること (2)課外活動支援に関すること (3)保健管理に関すること (4)その他学生支援に関するこ と | 学長補佐 (学生) | 委員の互 選により 選出され た者 | 学務課長 | 学科選出各2名 (委員長は所属 学科の選出数に 含む。) | 学務課 |
| キャリア支 援委員会 | (1)キャリア形成に関すること (2)就職及び進学に関すること (3)職業紹介に関すること (4)その他学生のキャリア支援 に関すること | 副学長 (総務) | 委員の互 選により 選出され た者 | 学長補佐 キャリア 支援課長 | 学科選出各2名 (委員長は所属 学科の選出数に 含む。) | キャリア 支援課 |
| 学生募集委 員会 | (1)学生募集に関すること (2)入試広報に関すること (3)学生の入学に関すること (4)オープンキャンパスや施設 見学に関すること (5)その他学生募集活動に関す ること | 学長補佐 (入試) | 委員の互 選により 選出され た者 | 入試広報 課長 | 学科選出各2名 (委員長は所属 学科の選出数に 含む。) | 入試広報 課 |
| 紀要・図書 委員会 | (1)図書館の管理運営に関する こと (2)研究紀要に関すること (3)学報に関すること | 副学長 (総務) | 委員の互 選により 選出され た者 | 総務課長 | 学科選出各1名 | 総務課 |

(注) 副学長(総務)は、総務事務を担当する副学長をいう。

副学長(教学)は、学務事務を担当する副学長をいう。

学長補佐(入試)は、入学試験及び学生募集事務を担当する学長補佐をいう。

学長補佐(教務)は、教務事務を担当する学長補佐をいう。

学長補佐(学生)は、学生支援事務を担当する学長補佐をいう。

ALOは、第三者評価連絡調整責任者をいう。

別表2（第8条関係）

| 委員会 | 部会 | 所掌事項 | 部会長 | 部会委員 |
|---------|------------|---|----------|-------------------------------------|
| 入学試験委員会 | 入試運営部会 | 入試の円滑な運営に関すること | 学長補佐(入試) | 学生募集委員会委員 (面接担当者は各学科で定める。) |
| | 入試問題作成部会 | 入試問題の作成に関すること | 学長が指名する者 | 学長が指名する者 (出題担当者及び採点担当者は学長が委嘱する。) |
| | 入試問題チェック部会 | 入試問題の点検に関すること | 学長補佐(入試) | 学長が指名する者 |
| | 入試監査部会 | 入試業務の監査に関すること | 副学長(教学) | 学科長 |
| 総務委員会 | 広報部会 | 広報(入試広報を除く。)に関すること | 副学長(総務) | 学長補佐(入試)、 各学科選出の総務委員各1名 |
| | 倫理人権部会 | (1)教育及び地域活動等における倫理に関すること (2)人権教育やハラスメント防止等、学生及び職員の人権に関すること | 副学長(総務) | 学長補佐、学科長 学科選出の総務委員各1名 |
| | 国際交流部会 | 国際的な教育交流、学生の相互交流、交流協定等、国際交流に関すること。 | 副学長(総務) | 学長補佐、学科長 |
| | 設備整備部会 | 整備改善計画の策定等、施設整備に関すること | 副学長(総務) | 学長補佐、学科長 |
| | 情報システム部会 | 情報システムの基本方針、管理運営、整備・更新等に関すること | 副学長(総務) | 学長が指名する者 |
| 教務委員会 | 実習部会 | 学外実習の企画立案及び事前事後指導に関すること | 学長補佐(教務) | 学科選出の教務委員 |

令和4年度 各種委員会名簿

令和4年4月1日

| 委員会名 | 構成員（学科選出委員以外の教員） | 学科選出委員 | | | | | | 職員 |
|--|---|--------|----------|------------|-----------|------------|-------|----------------|
| | | 開催頻度 | 必要数 | 生活学科 | 幼教学科 | ビジコミ学科 | DLB学科 | |
| 人事委員会 | ○学長・副学長・学長補佐・学科長 | △ | | — | — | — | — | 事務局長 |
| 資格審査委員会 | ○学科長・当該学科委員 | △ | | — | — | — | — | — |
| 自己点検・評価統括委員会 | ○理事長・学長・副学長・学科長・AL0 | △ | | — | — | — | — | 事務局長 |
| 自己点検・評価委員会 | ○学長・副学長・学長補佐・学科長・AL0 | △ | | — | — | — | — | 事務局長 各課長 |
| 危機管理委員会 | ○学長・副学長・学長補佐・学科長 | △ | | — | — | — | — | 事務局長 総務課長 |
| 入学試験委員会 | ○学長・副学長・学長補佐・学科長 | △ | | — | — | — | — | 事務局長 入試広報課長 |
| ▶ 入試運営部会 | ○学長補佐（入試）・学生募集委員 | △ | | | | — | | 入試広報課長 |
| ▶ 入試監査部会 | ○副学長・学科長 | △ | | — | — | — | — | 入試広報課長 |
| ▶ 入試問題作成部会 | ○学長が指名する者・学長が指名する者 | △ | | — | — | — | — | 入試広報課長 |
| ▶ 入試問題チェック部会 | ○学長補佐（入試）・学長指名3名 | △ | | — | — | — | — | 入試広報課長 |
| 学生調査委員会 | ○副学長・学長補佐（学生）・関係学科長・副学長指名委員3名 | □ | | — | — | — | — | — |
| 衛生委員会 | ○副学長・学長指名委員 | △ | 田中／衛生管理者 | | | | | 事務局長 保健室 |
| 企画委員会 | ○学長・副学長・学長補佐・学科長 | ○ | 1名 | 灰藤 | 菅 | 田中 | 小山内 | 事務局長 各課長 |
| 学生募集委員会 | ○学長補佐（入試）・学科長 | ○ | 1名* | 石井 | 柚木/ 保田 | 山中 | 小山内 | 入試広報課長 |
| 研究倫理委員会 | ○委員長（学長指名）・学外委員2名（学長指名） | △ | 1名 | 笹倉 | 李 | 田中 | — | 総務課長 |
| 教学マネジメント委員会 | 学長・副学長・学長補佐・学科長・AL0 | △ | | — | — | — | — | 事務局長 学務課長 |
| ▶ IR部会 | ○専門委員（教員/事務職員） | △ | | 李／（小山内） | | | | 事務局長 各課長 |
| 教務委員会 | ○学長補佐（教務） 学長補佐（教務）の属する学科は1名、学生委員兼任不可 | ○ | 1～2名* | 清水ま/ 灰藤 | 松井/ 菅 | 田中/菫 | 小笠原 | 学務課長 |
| ▶ 教職課程部会 | ○学長補佐（教務） | △ | 1～2名 | 笹倉 | 松井/ 菅 | — | — | 学務課長 |
| ▶ 実習部会 栄養教諭教育実習担当者会 幼稚園教育実習担当者会 保育所実習担当者会 施設実習担当者会 医療秘書実習担当者会 | 学長補佐（教務）・同指名の教務委員若干名 | △ | | 各実習担当者 | | | | — |
| 学生委員会 | ○学長補佐（学生） 学長補佐（学生）の属する学科は1名教務委員兼任不可 | ○ | 1～2名* | 笹倉 | 三上・ 松村 | 伊澤・ 清水美 | 河村 | 学務課員 |
| ▶ 国際交流部会 | ○部会長（学長補佐・学生）・学長補佐・学科長 | △ | | — | — | — | — | 学務課員 |
| キャリア支援委員会 | ○副学長 | △ | 1名 | 笹倉 | 三上 | 菫 | 河村 | キャリア支援課長 |

| | | | | | | | | |
|------------|-------------------|---|----|----|-----|-------|----------|---------------|
| 紀要・図書委員会 | ○副学長(図書館長) | ○ | 1名 | 豊岡 | 永久 | 田中/伊澤 | — | 総務課長 リフネット |
| 総務委員会 | ○副学長・(学長補佐) | △ | 1名 | 豊岡 | 永久 | 伊澤 | — | 総務課長 |
| ➤ 倫理人権部会 | ○部会長・副学長・学長補佐・学科長 | △ | 1名 | 豊岡 | ○永久 | 伊澤 | 小山内 | 総務課長 |
| ➤ 広報企画部会 | ○部会長・学長指名する事務職員 | △ | 1名 | 灰藤 | 松井 | 清水美 | — | 入試広報課長 他 |
| ➤ 情報システム部会 | ○部会長・ | △ | 1名 | 豊岡 | 松井 | — | ○小山内・小笠原 | 総務課長 |
| ➤ 設備整備部会 | ○部会長・副学長・学長補佐・学科長 | △ | | — | — | — | — | 総務課長 |
| 奨学生選考委員会 | ○学長・副学長・学長補佐 | △ | | — | — | — | — | 事務局長 |

① *印・学長補佐の所属する学科は、学長補佐を委員にカウントするものとする

② ALO は正・副 ALO とする

③ DLB 学科については 必要な委員会のみ登録

④ 開催頻度 : ○は毎月開催、△は不定期開催、□は都度開催

3つのサポートセンター

| | センター長 | 教員 | 事務職員 |
|-------------------|----------|--------------|---------|
| ラーニング・サポートセンター | 学長補佐(教務) | 伊澤/清水美/小笠原/ | 学務課(教務) |
| キャンパスライフ・サポートセンター | 学長補佐(学生) | 笹倉/伊澤/清水美/河村 | 学務課(学生) |
| ➤ 学生相談室 | 学生相談室長 | | 学務課(学生) |
| キャリア・サポートセンター | 副学長 | 笹倉/清水美/河村 | キャリア支援課 |
| ➤ キャリア募集室 | キャリア支援室長 | | キャリア支援課 |

その他

| | | | |
|--------------|-----------------------|---------------|------------------|
| 企画戦略会議 | ○学長・副学長・その他(学長が指名する者) | | |
| 高大連絡調整会議 | ○副学長・学長補佐・学科長 | 学生相談室長 | 各課長・保健室 |
| 全学デジタル教育推進WG | 学長・学長指名委員 | 小山内/江見/久米/小笠原 | 学務課長 総務課員(松岡) |

| | 責任者 | 教員 | 事務職員 |
|--------------------|----------|----------------|----------|
| 高等教育開発センター・SD/FD部会 | 学長補佐(教務) | 教務委員 | 学務課(教務) |
| 地域連携教育研究センター | 副学長 | 松村・紀要図書委員 | 事務局長/総務課 |
| ・研究支援室 | ○副学長指名 | 李 | 総務課(松岡) |
| 乳幼児総合研究所 | ○三上 | ○幼教教員+研究員 | 総務課 |
| ・教育研究・課題解決チーム | ○李 | ○ | |
| ・すみれガーデン | ○松村 | ○ | |
| 入試広報センター | 学長補佐(入試) | 学生募集委員 | 入試広報課 |
| ・入学試験実施室 | 入試広報課長 | | 入試広報課 |
| ・学生募集室 | 学生募集室長 | | 入試広報課 |
| 危機管理対策本部 | 学長 | 副学長・関係学長補佐・学科長 | 事務局長/総務課 |

データ保管 総務課>F庶務フォルダ>学内委嘱役職関係>令和3年度発令

対外秘

| | | | | | | |
|------------|----------------|--|--|---|--|--|
| 入試問題作成部会 | 問題作成委員(学長指名) | | | ※ | | |
| 入試問題チェック部会 | 問題チェック委員(学長指名) | | | | | |

滋賀短期大学自己点検・評価に関する規程

平成5年9月9日 制定

(中間の改正省略)

令和2年7月9日 改正

(目的)

第1条 この規程は、学校教育法（昭和22年法律第26号）（以下「法」という。）第109条の規定に基づき、滋賀短期大学（以下「本学」という。）の教育研究、組織及び運営並びに施設設備の状況について自ら点検及び評価を行うことに必要な事項を定める。

(自己点検・評価組織)

第2条 前条の目的を達成するため、本学に自己点検・評価統括委員会（以下「統括委員会」という。）及び自己点検・評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置し、評価委員会の下に第1部会、第2部会、第3部会、第4部会、第5部会の5部会を置き、その組織は別表1のとおりとする。

2 統括委員会は、評価委員会及び各部会を統括する。

3 第三者評価に向けての自己点検・評価に対して、正・副第三者評価連絡調整責任者（以下「ALO」という。）を置く。

(統括委員会の任務)

第3条 統括委員会は、次の各号に掲げる事項について審議し、決定する。

- (1) 自己点検・評価の基本方針
- (2) 部会の設定及び委員の人選
- (3) 自己点検・評価の対象分野、実施方法及び公表と活用等
- (4) その他統括委員会が特に必要と認めた事項

(統括委員会の構成)

第4条 統括委員会の構成は、理事長を委員長、学長を副委員長とし、副学長、各学科長、正ALO、副ALO、事務局長及び法人の事務局長、総務部長、総合企画部長を委員とする。

2 委員長が必要と認めた場合には、委員以外の者を出席させ、意見等を聴取することができる。

(統括委員会の運営)

第5条 統括委員会は、委員長が招集し、議長となる。

2 議事は、特に定める事項を除き、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 委員長に事故あるときは、副委員長が議長となる。

(評価委員会の運営)

第6条 評価委員会は、統括委員会が定める自己点検・評価の基本方針に基づき、本学の教育理念・目標、教育研究の推進に関する基本的事項及び本学が認証評価を受けようとする法第110条に規定する認証評価機関が定める評価項目等について検討する。

2 評価委員会は、学長を委員長とし、副学長、学長補佐、図書館長、各学科長、正・副ALO、事務局長、

総務課長及び法人の事務局長、総務部長、総合企画部長で組織する。

- 3 前項に定める委員長は、所管する委員会を招集し、議長となる。
- 4 委員長に事故あるときは、副学長が議長となる。
- 5 評価委員会は、検討した結果を報告書として取りまとめ、毎年統括委員会委員長に提出する。

(部会の運営)

第7条 部会は、統括委員会が定める自己点検・評価の基本方針に基づき、評価委員会で定める各部会の点検・評価項目について個別の自己点検・評価を行う。

- 2 部会に、それぞれ部会長を置き、部会長は、評価委員会で指名する。
- 3 部会長は、所管する部会を招集し、議長となる。
- 4 部会長に事故あるときは、あらかじめ部会長が指名した代行者が、その任にあたる。
- 5 部会長は、指定の期日までに個別の自己点検・評価の結果を、所定の様式により、評価委員長に報告しなければならない。

(自己点検・評価報告書)

第8条 評価委員会は、前条第5項に定める報告を整理し、原則として毎年、本学全体の自己点検・評価報告書として取りまとめ、統括委員会に提出する。

- 2 統括委員会は、自己点検・評価報告書を、理事会の議を経て本学の職員に公表する。

(改善努力)

第9条 統括委員会は、前条に規定する報告書における改善を要する教育研究及び経営管理に関する事項について、必要とする措置を講ずるなど、実現に努める。

- 2 評価委員会は、前条に規定する報告書における改善を要する教育研究に関する事項について、必要な改善策をとるなど実現に努める。

(事務局)

第10条 自己点検・評価統括委員会の事務局は、法人本部が担当する。

- 2 自己点検・評価委員会の事務局は、総務課が担当する。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、自己点検・評価統括委員会が行う。

附 則

この規程は、平成5年9月9日から施行する。

(中間の改正附則は、省略した。)

附 則

この規程は、平成24年7月5日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年5月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年1月8日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年8月4日から施行する。

附 則

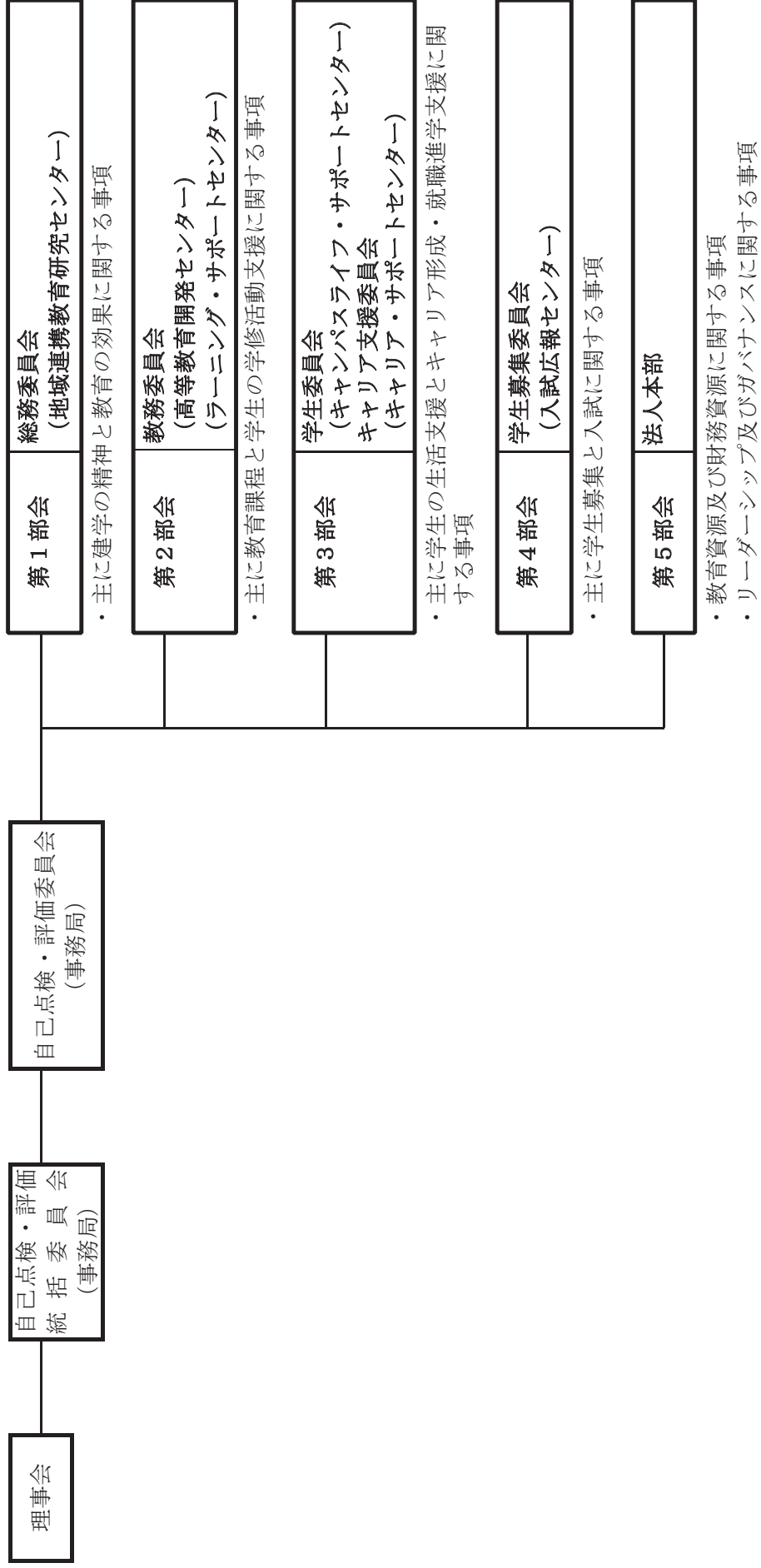
この規程は、平成29年6月22日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

【別表1】

滋賀短期大学自己点検・評価の組織図



滋賀短期大学「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」取組概要

プログラムの目的

滋賀短期大学では、デジタル社会で活躍できる実務人材の育成を目指し、各学科の専門分野に応用できる「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を編成しています。

プログラムの名称

実務人材育成のためのデジタル教育推進プログラム

プログラムの構成

生活学科

- ・「データ分析入門」(2単位)
- ・「情報処理基礎Ⅱ」(1単位)

幼児教育保育学科

- ・「データ分析入門」(2単位)
- ・「情報処理基礎Ⅱ」(1単位)

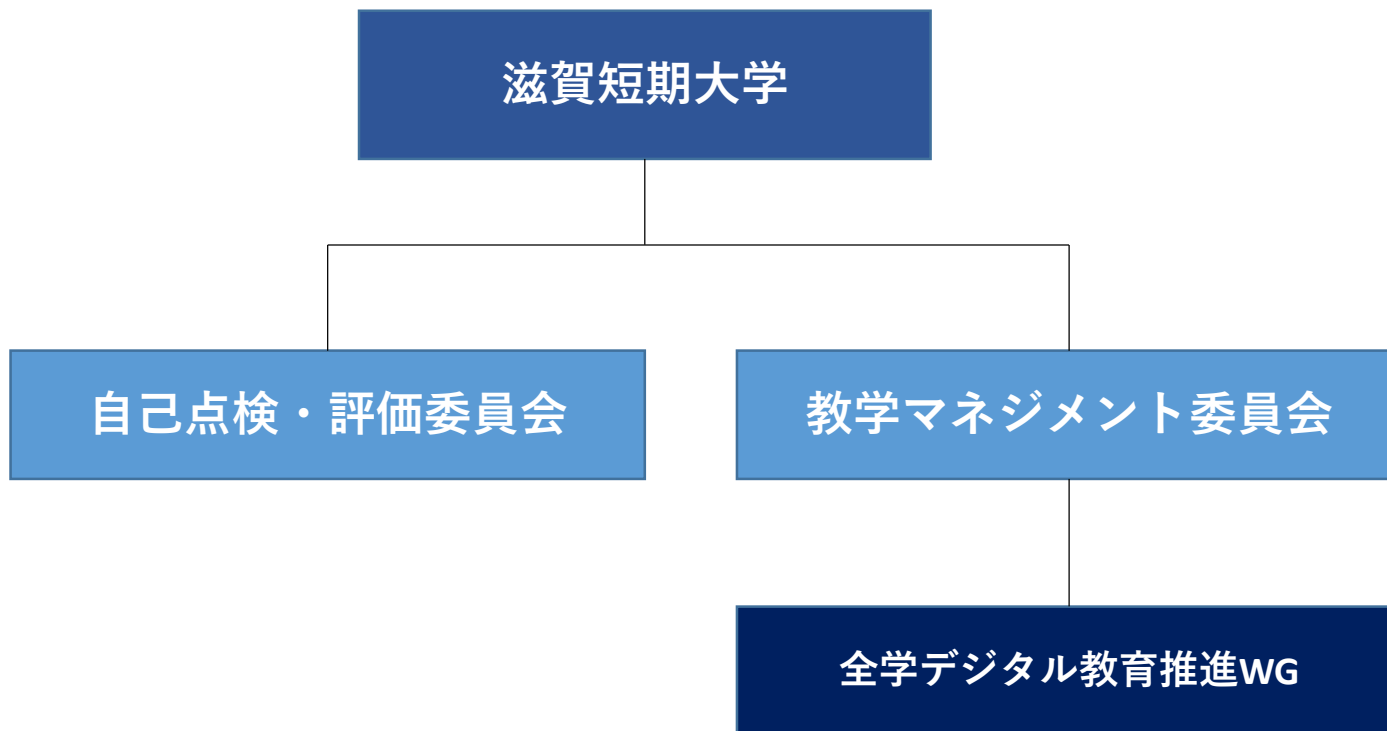
ビジネスコミュニケーション学科

- ・「データ分析入門」(2単位)
- ・「コンピュータリテラシー
(データ処理)Ⅱ」(1単位)

令和4年度から全学共通科目「データサイエンス・リテラシー」(2単位)、専門科目「データサイエンス入門」(2単位)、「データサイエンス応用」(2単位)を新設し、プログラムの内容を拡充する。

★「データサイエンス・リテラシー」は幼児教育保育学科を除くすべての学科で必修化し、より多くの学生がプログラムを履修できる体制とする。

滋賀短期大学「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」推進体制



全学デジタル教育推進WG

1. 本学で実施する次の各号に掲げる事項について全学的に連絡調整を行い、本学におけるデジタル教育全般の推進及び質向上を図ることを目的とする。
 - (1) デジタル教育および数理・データサイエンス・AI教育プログラムの開発、管理及び運営に関すること。
 - (2) デジタル教育および数理・データサイエンス・AI教育プログラムの質向上に関すること。
2. 本WGは、前項各号のほか次に掲げる業務を行う。
 - (1) 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度に関すること。
 - (2) デジタル教育および数理・データサイエンス・AI教育プログラムの自己点検・評価に関すること。
 - (3) その他デジタル教育および数理・データサイエンス・AI教育に関すること。